

新日軽 ネクスペース^{クー} フォールドゲート

施工説明書

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この取付説明書をお読みください。
必ず専門業者による施工をしてください。施工完了後はお施主様へお渡しく下さい。

設置上の注意事項

- 納まり図・基礎寸法・プランニングの注意事項に関しては、柱・フレーム取付説明書 (ME-2116) を参照してください。
- 柱・フレームの取付けに関しては、柱・フレーム取付説明書 (ME-2116) を参照していただき、加工・組立を行ってください。
- 施工場所に商品が寸法的に納まることを確認してください。
- 柱は地中に埋め込み、必ずコンクリートで固定してください。
- 柱の基礎穴に他の配管 (水道、ガスなど) が埋め込まれていないことを確認してください。

施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- ①ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離 (はくり)、また排気ガスによるアルミ商品 (スチール・ステンレス含む) の腐食の原因になります。
- ②モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれている為、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- ③モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中にアルミ製品の表面を流れない様にご注意してください。
- ④モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- ⑤施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけると腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
- ⑥アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑦腐食の恐れのある接着剤や化学製品を施工上使用する場合はアルミ製品と接触しない様にしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑧柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。
- ⑨養生期間は十分 (4日~1週間) にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- ⑩施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。
- ⑪みだりに改造・変更しないでください。
- ⑫扉走行面は、水平に仕上げてください。

この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤って取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

- 目次 -

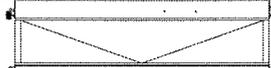
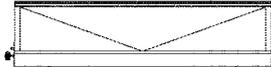
●梱包明細	2、3、4	●錠の取付け	16、17
●施工手順	5	●縦枠の取付け (片開き)	18
●柱・フレームの組立、上枠アタッチメントの取付け、 下部レールの取付け	6	●上枠部品の取付け	19
●ガイドレールの取付け (形材のみ)	7	●吊戸車の高さ調整	20
●各部寸法の確認、上枠レール大の取付け (長い方)	8	●下部ガイドローラーの高さ調整	20
●レール端部金具の取付け	9	●施錠受けの高さ調整	20
●中間扉勝手の確認	10、11、12	●落とし錠受けの設置	21
●扉の吊込み	13	●下部ガイドの取付け	22
●吊元カバーの取付け (片開き・両開き)	14	●幅決めゴム・溝塞ぎカバーの取付け	23
●吊元スライドボルトと吊元カバー端部板金の連結	14	●フォールドゲート単独納まりの場合	24
●扉の連結	15	●施工工事店様、販売店様へのお願い	24

梱包明細

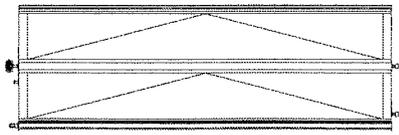
■掛吊扉セット (片開き・両開き)

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
掛扉			RまたはL 1セット		
吊元扉			RまたはL 1セット		
溝塞ぎカバー			1本		
六角レンチ			1本		
落し錠受け (UD-1219)			1個		
連結用 取付ネジセット (SE-1845)	M5×20L 六角穴付き皿小ネジ		2本		
	M5×13L 十字穴付きナベドリルネジ		6本		

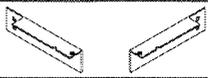
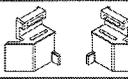
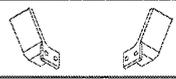
■受吊扉セット (両開き)

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
受扉			LまたはR 1セット		
吊元扉			LまたはR 1セット		
溝塞ぎカバー			1本		
落し錠受け (UD-1219)			2個		
連結用 取付ネジセット (SE-1845)	M5×20L 六角穴付き皿小ネジ		2本		
	M5×13L 十字穴付きナベドリルネジ		6本		

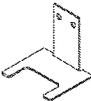
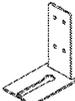
■中間扉セット (片開き・両開き)

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
中間扉			1セット		
溝塞ぎカバー			1本		
幅決めゴム (ETC-5835)			2個		
M4×16L 十字穴付きナベタッピンネジ 3種			2本		
連結用 取付ネジセット (SE-1845)	M5×20L 六角穴付き皿小ネジ		2本		
	M5×13L 十字穴付きナベドリルネジ		6本		

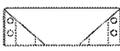
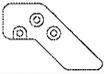
■上枠レールセット (片開き・両開き)

名称	略 図	数 量			
		間口33	間口38	間口62	
上枠アタッチメント		RまたはL 1本	RまたはL 1本	1本	
溝塞ぎカバー		2本	2本	3本	
上枠レール大		1本			
上枠レール小		1本	1本	2本	
ガイド大		1本			
ケリ出しガイド	L  R	RまたはL 1個	RまたはL 1個	R・L 各1個	
吊元ガイド (CB-1288)	L  R	RまたはL 1個	RまたはL 1個	R・L 各1個	
第1ケリ出し (CB-1289)	L  R	RまたはL 1個	RまたはL 1個	R・L 各1個	
ケリ込み (CB-1287)	L  R	RまたはL 1個	RまたはL 1個	R・L 各1個	
第2ケリ出し (ETC-3071)		1個	1個	2個	
M5x50L 十字穴付き皿タッピンネジ 1種		2本	2本	4本	
上枠用 取付ネジセット (SE-1846)	M5x12L 十字穴付きトラスタッピンネジ 2種		25本	28本	40本
	M5x13L 十字穴付きナベドリルネジ		8本	9本	14本
	M5x16L 十字穴付きトラスタッピンネジ 2種		6本	6本	12本
	M5x25L 十字穴付きナベドリルネジ		4本	4本	8本
	M5x16L 十字穴付き皿小ネジ		2本	2本	4本
施工説明書 (ME-2099)		1冊			
取扱説明書 (MET-1066)		1冊			

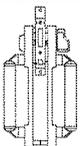
■戸当吊元カバーセット (片開き・両開き)

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
縦枠			1本	1本	—
吊元カバー			1本	1本	2本
縦枠端部板金 (CY-3337)			1枚	1枚	—
吊元カバー端部板金 (CY-3338)			1枚	1枚	2枚
ビス穴塞ぎφ10用 (C-1172)			9個	9個	—
縦枠・吊元カバー 取付ネジセット (SE-1847)	M5x16L 十字穴付きナベドリルネジ		18本		
スペーサー			2個	2個	—

■下部レールセット

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
下部レールA			1本		
下部レールB			1本		
下部レールC			1本	1本	掛用1本 受用1本
レール取付金具 (ETC-5833)			2個		
レール端部金具 (ETC-3887)			2個		
レール端部金具A (BS-1059)			1個	1個	2個
下部ガイド (EB-2931)			1個	1個	2個
下部レール 取付ネジセット (SE-1848)	M5x13L 十字穴付きナベドリルネジ		8本	8本	8本
	M4x16L 十字穴付きナベドリルネジ		10本	10本	12本
	M4x25L 十字穴付きナベドリルネジ		3本	3本	6本
	M5x25L 十字穴付きナベドリルネジ		2本	2本	4本
	M5x16L 十字穴付きナベドリルネジ		20本	22本	34本

■引戸錠セット

名称		略 図	数 量		
			間口33	間口38	間口62
引戸錠 HA型			片引き 1セット	片引き 1セット	両引き 1セット

施工手順

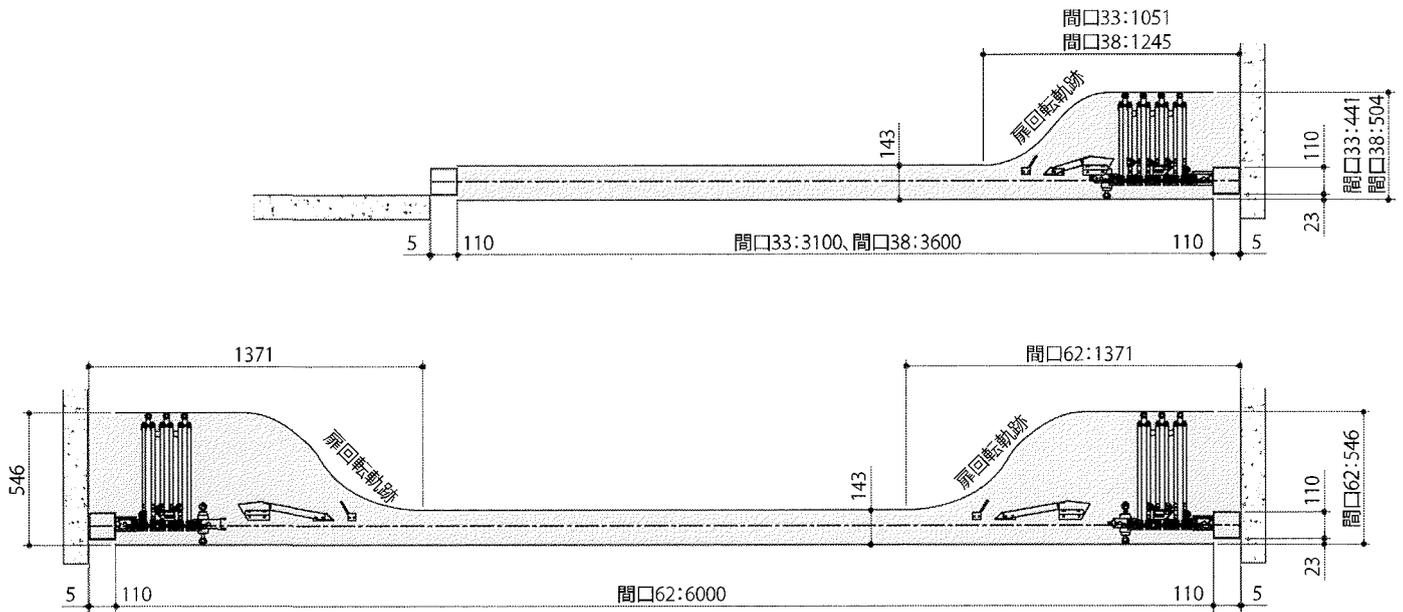
1 はじめに

1. 障害物等により、扉の開閉に支障の無い場所に設置してください。
2. 床面の仕上げは本体のたたみ巾も考慮に入れ、水平・平滑に仕上げ水勾配をつけないでください。
3. 下記に示した納まり以外の場合は、開閉動作、勾配等を考慮して施工してください。

■基礎工事について

1. フォールドゲートは、風圧を受けますので全体の強度保持に十分注意してください。特に地盤が軟弱な場所、台風が頻繁に飛来する地区、特に風が強い場所などの施工現場では基礎を大きめに設けてください。
2. 柱基礎には必ず割栗石を敷き、十分につかためてください。
3. 地下埋設物に注意してください。

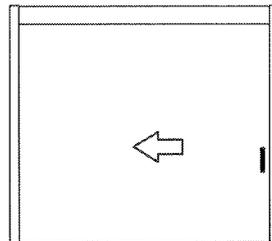
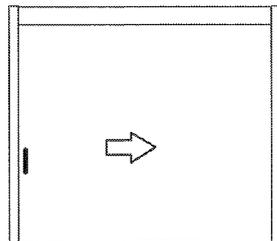
! 扉走行面は、水平・平滑に仕上げ水勾配をつけないでください。扉走行面に、障害物があったり、床面の仕上げ精度によっては、扉や下部ガイドローラーが干渉して、開閉ができなくなる可能性があります。



片開き

右勝手 (R)

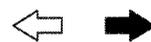
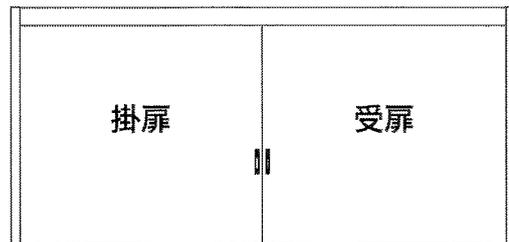
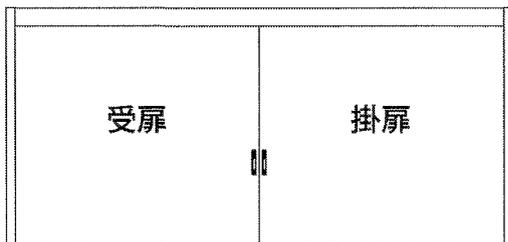
左勝手 (L)



両開き

右勝手 (R)

左勝手 (L)



※本図は外観正面図を示しています。

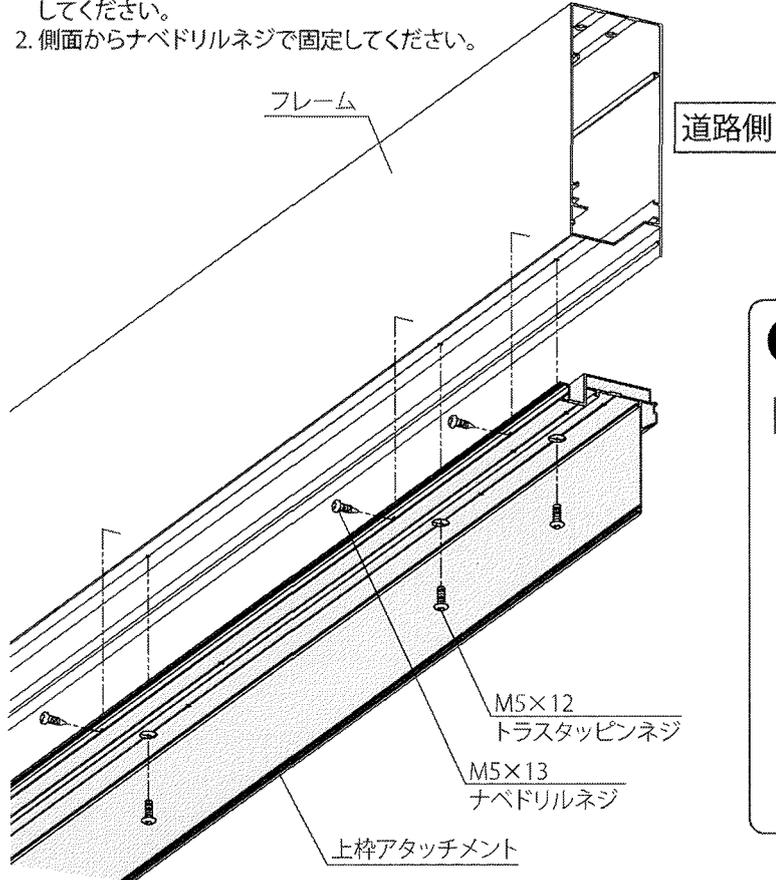
2 柱・フレームの組立

1. フレーム梱包内の取付説明書 (ME-2116) の手順に従って、組立を行ってください。

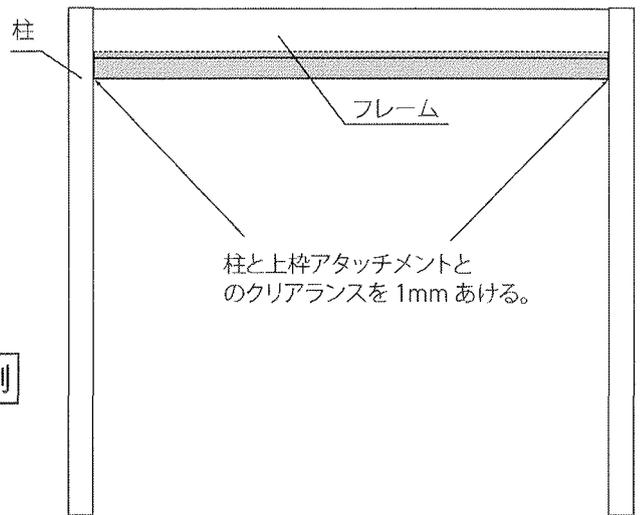
※柱・フレームの組立後、本書の手順にそって **3** 上枠アタッチメントの取付け **4** 下部レールを取付け **5** ガイドレールの取付け (形材のみ) **6** 各部寸法の確認をしてからコンクリートの施工を行ってください。

3 上枠アタッチメントの取付け

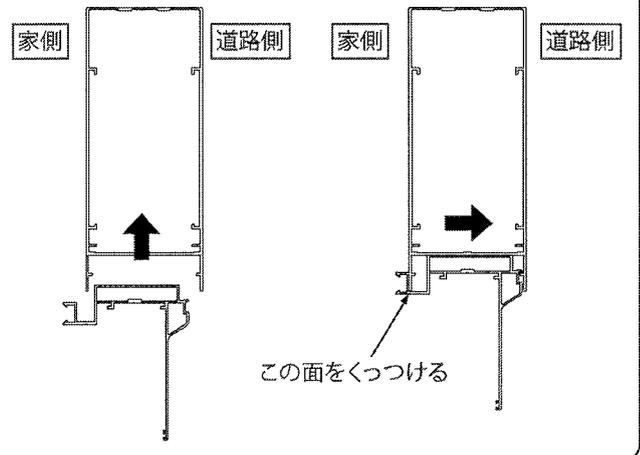
1. フレーム下部に上枠アタッチメントをトラスタッピンネジで固定してください。
2. 側面からナベドリルネジで固定してください。



※本図は、シンプルフレームの場合を示しています。デザインフレームも同様に行ってください。



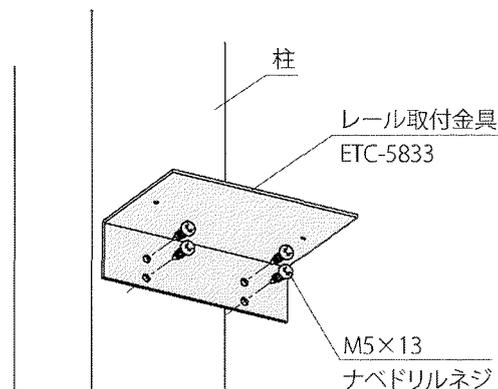
! ネジ止めは道路側に押し当てた状態で行ってください。



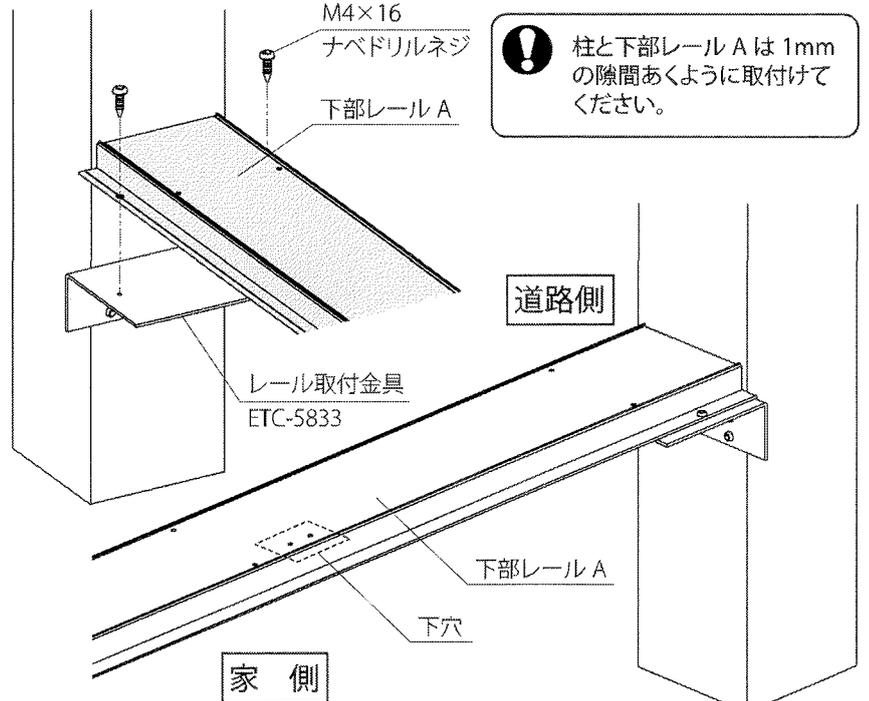
4 下部レールの取付け

1. レール取付金具をナベドリルネジで柱の下穴に合わせて、取付けてください。

2. レール取付金具に下部レール A をナベドリルネジで取付けてください。



! 下部レール A の下穴が家側になるように取付けてください。



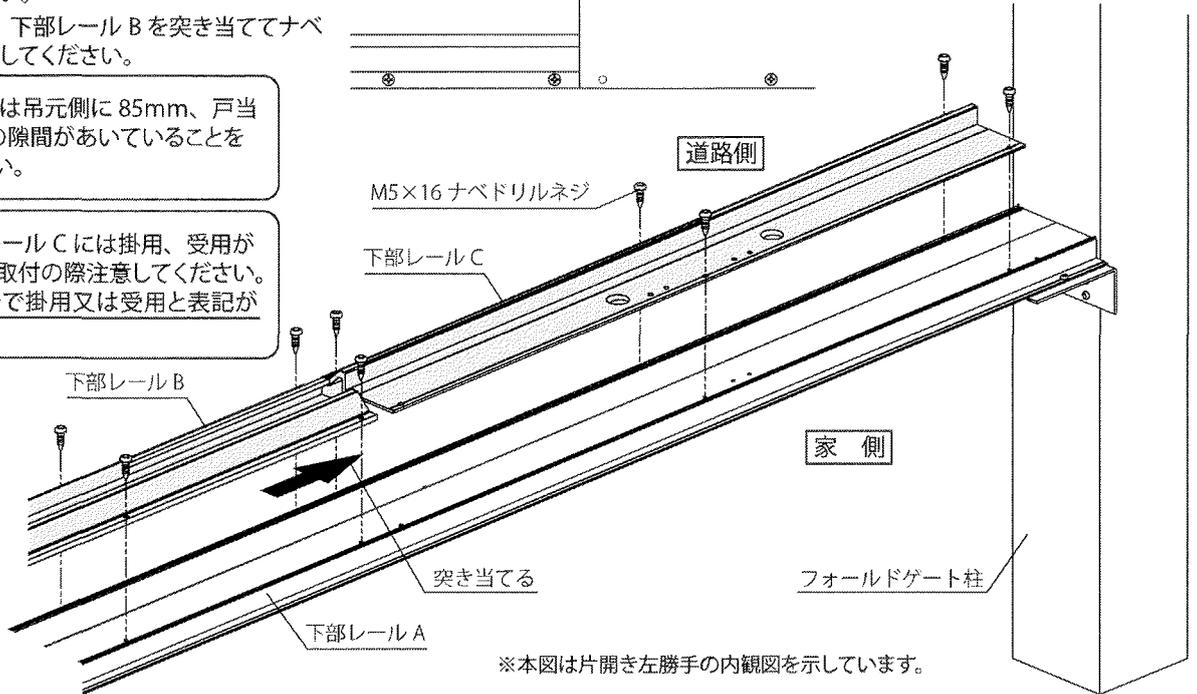
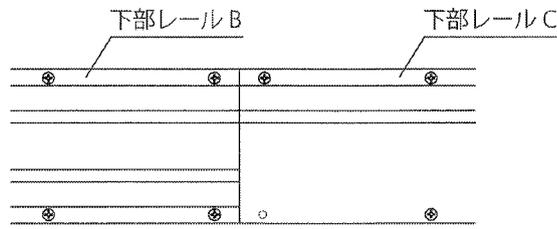
! 柱と下部レール A は 1mm の隙間あくように取付けてください。

5 ガイドレールの取付け (形材のみ)

1. 下図ガイドレール取付位置 (平面図) を参照して下部レールCを下部レールAの下穴に所定のネジで取付けてください。
2. 下部レールCに、下部レールBを突き当ててナブドリルネジで固定してください。

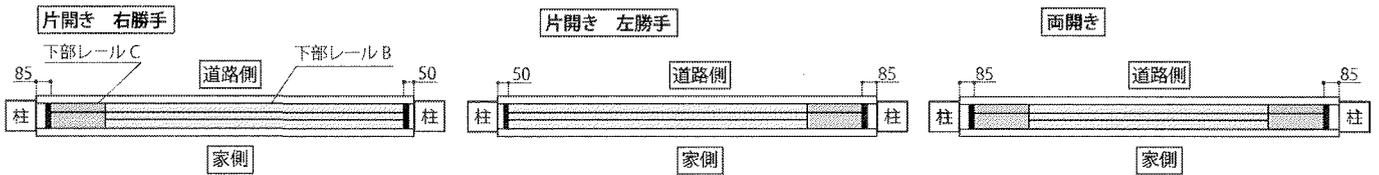
! 柱とレールの間は吊元側に85mm、戸当り側に50mmの隙間があいていることを確認してください。

! 両開きの下部レールCには掛用、受用がありますので、取付の際注意してください。裏側にマーカーで掛用又は受用と表記があります。



※本図は片開き左勝手の内観図を示しています。

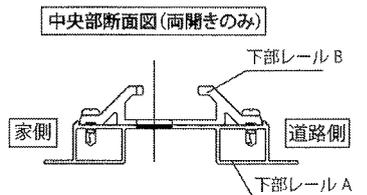
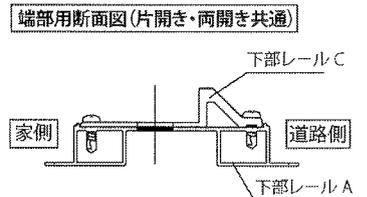
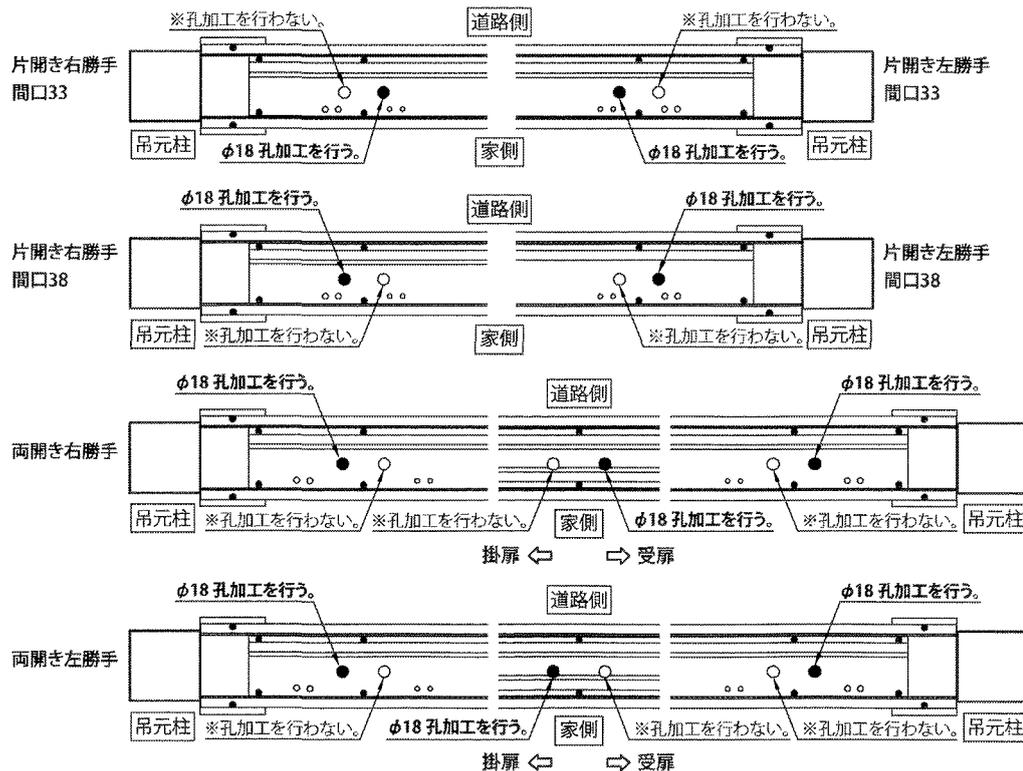
ガイドレール取付位置 (平面図)



3. 下図 (落し棒孔加工位置) を参照して、 $\phi 18$ の孔加工を行ってください。

! コンクリートを流し込む前にガムテープ等でレールに開けた孔をふさいでください。

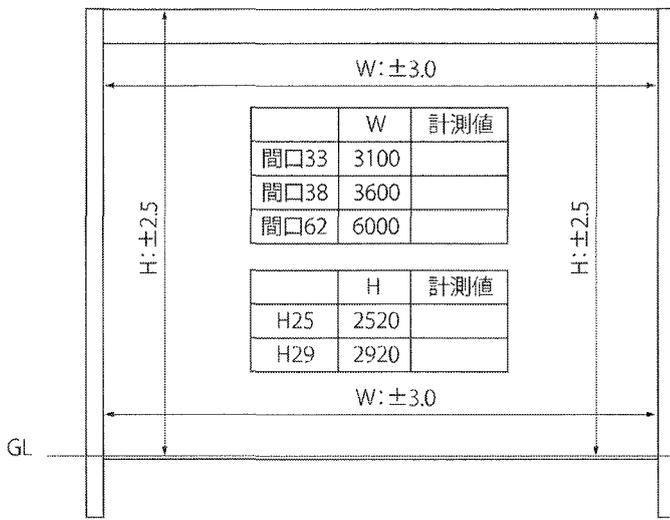
下部レールAの落し棒孔加工位置 (平面図) ※黒丸部に孔加工してください。



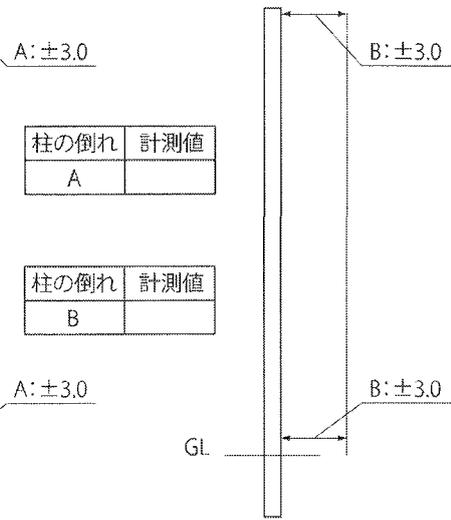
6 各部寸法の確認

! 許容範囲を外れた場合、正常に扉の開閉ができなくなる可能性があります。範囲内の寸法で養生してください。

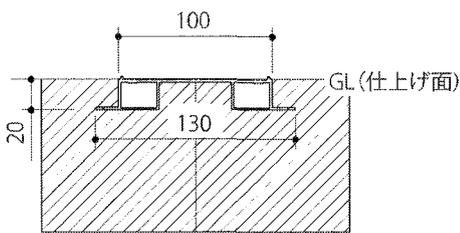
正面図



側面図

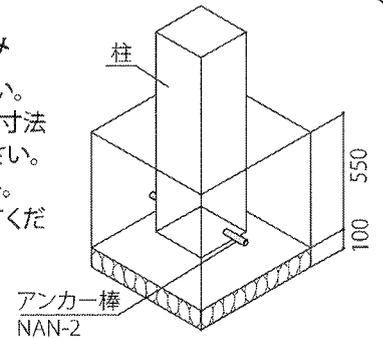


下部レール A 断面図



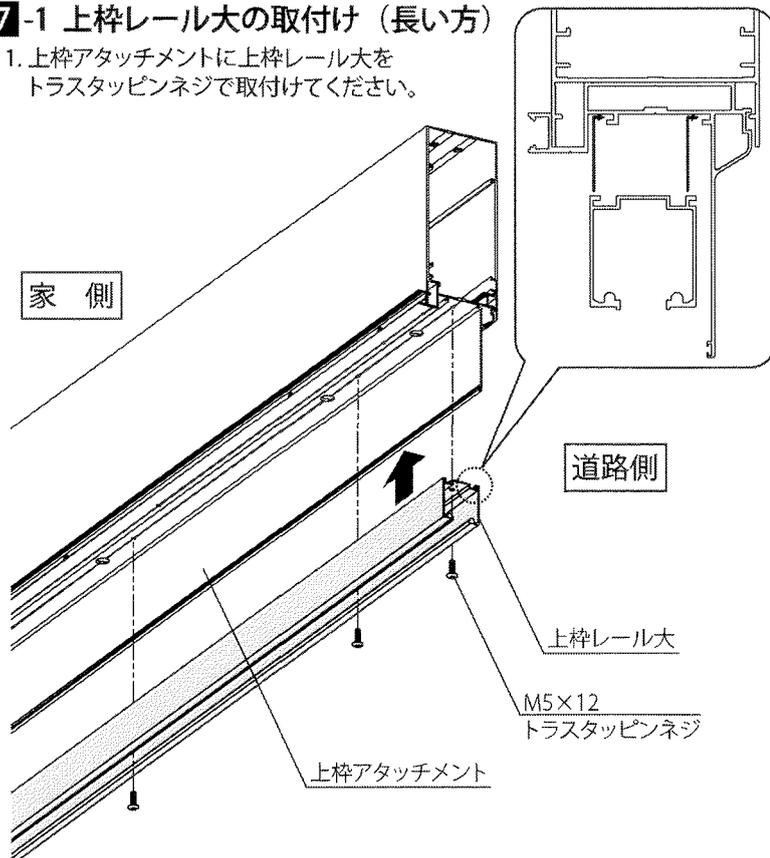
・コンクリートの打ち込み

- ①柱のアンカー棒を確認してください。
- ②屋根の対角、柱の間隔、垂直、平行寸法が正しく出ているか確認してください。
- ③コンクリートを流し込んでください。
- ④コンクリートが固まるまで養生してください。(4日~1週間程度)



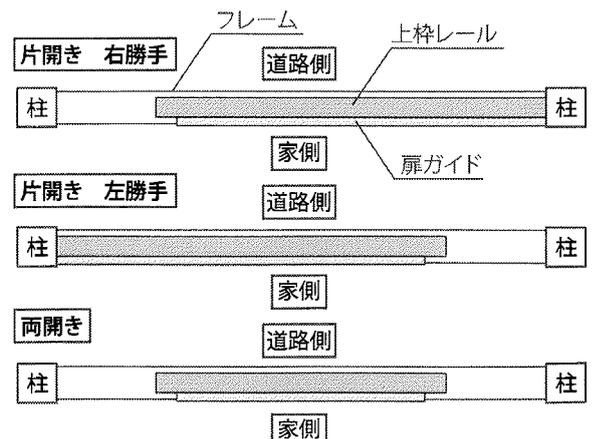
7-1 上枠レール大の取付け (長い方)

1. 上枠アタッチメントに上枠レール大をトラスタッピンネジで取付けてください。



! 上枠アタッチメントと上枠レールのツメ部分をかみ合わせてネジ止めしてください。

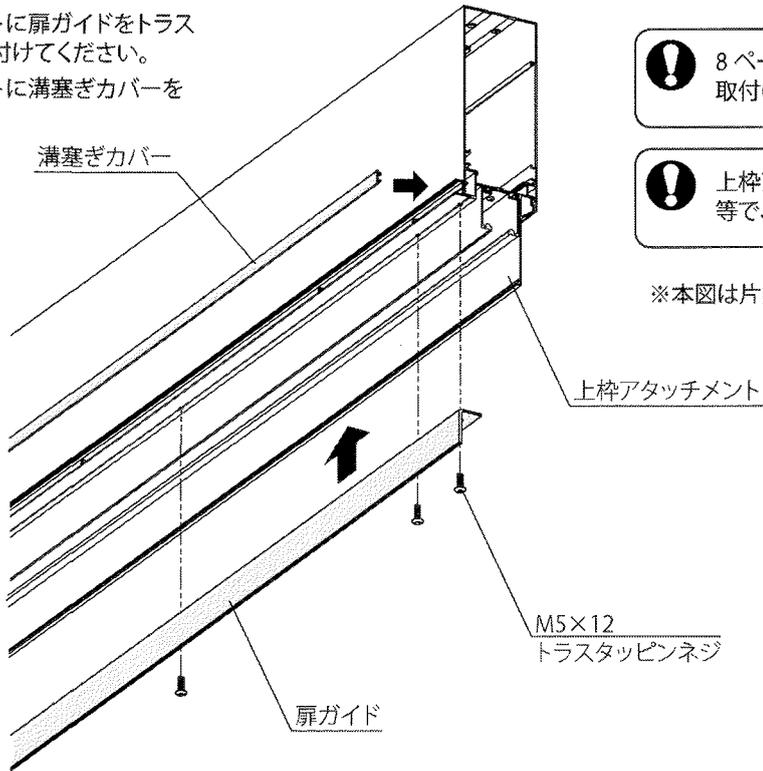
取付位置 (平面図)



2. 扉ガイドの取付け

上枠アタッチメントに扉ガイドをトラス
タッピンネジで取付けてください。

上枠アタッチメントに溝塞ぎカバーを
取付けてください。



❗ 8ページの取付位置（平面図）を参照して
取付けてください。

❗ 上枠アタッチメントに溝塞ぎカバーを当て木
等で、軽く叩いて取付けてください。

※本図は片開き右勝手の内観図を示しています。

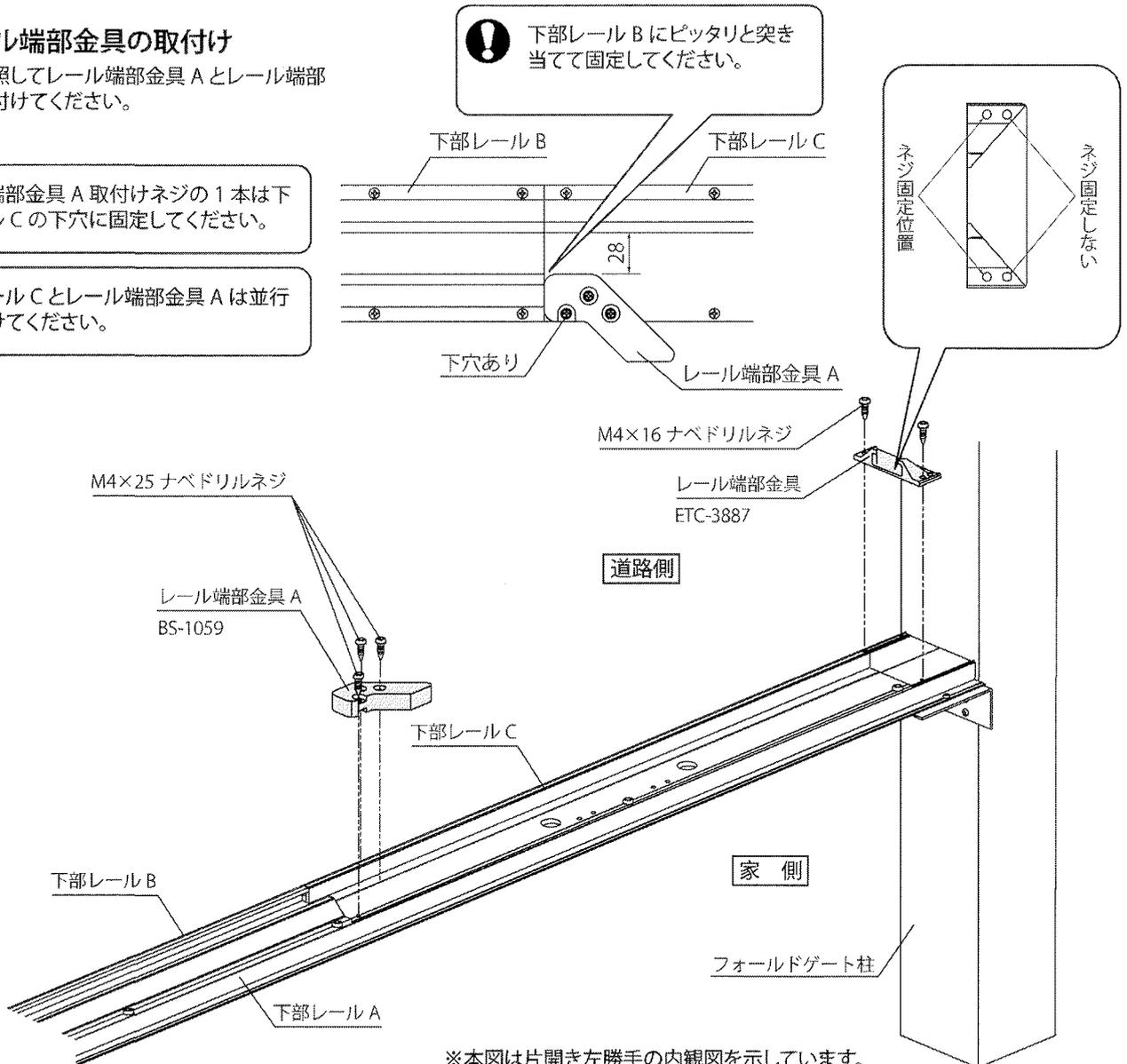
7-2 レール端部金具の取付け

1. 下図を参照してレール端部金具 A とレール端部
金具を取付けてください。

❗ レール端部金具 A 取付けネジの 1 本は下
部レール C の下穴に固定してください。

❗ 下部レール C とレール端部金具 A は並行
に取付けてください。

❗ 下部レール B にピッタリと突き
当てて固定してください。



※本図は片開き左勝手の内観図を示しています。

8 中間扉勝手の確認

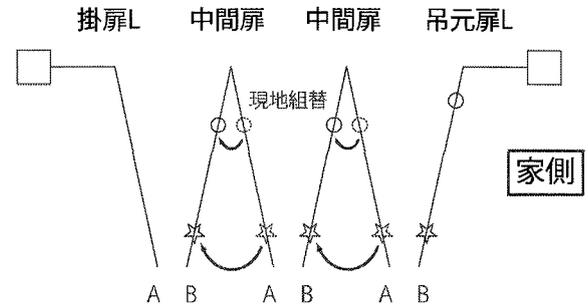
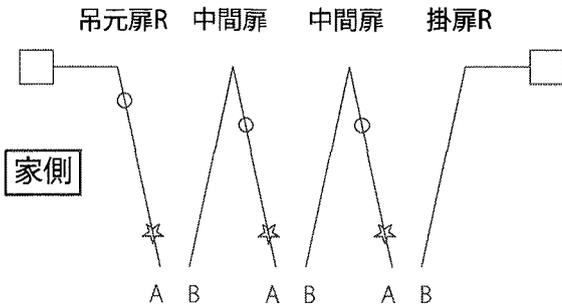
・片開き左勝手となる場合および両開きの外観左側の中間扉は次の手順で上框ガイドローラーと下框ガイドローラーを組替えてください。
組替え方法は P11、P12 ページを参照してください。

片開き 右勝手

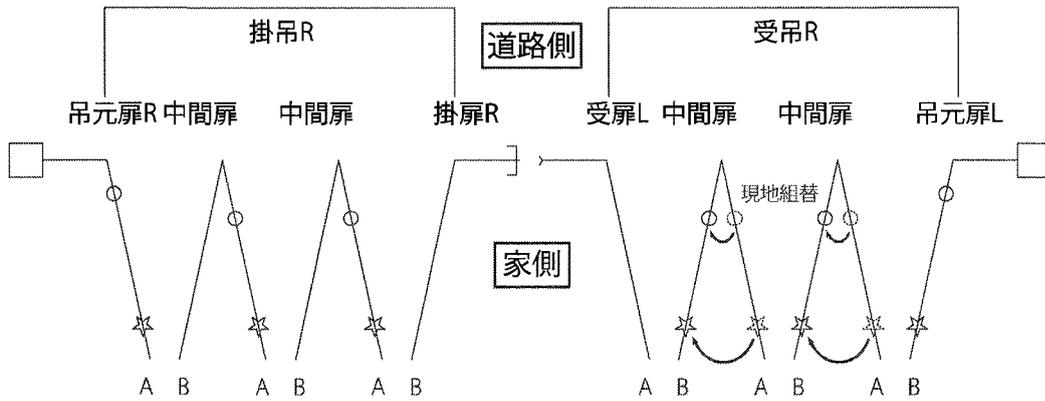
片開き 左勝手

道路側

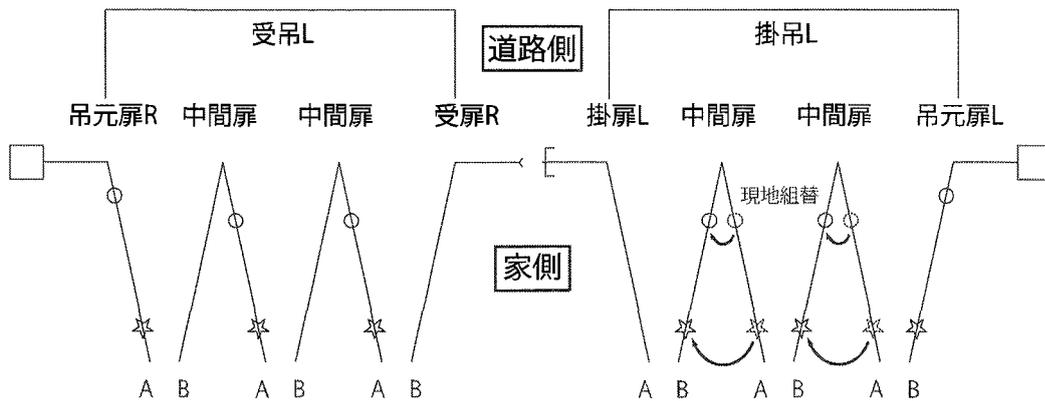
道路側



両開き 右勝手



両開き 左勝手

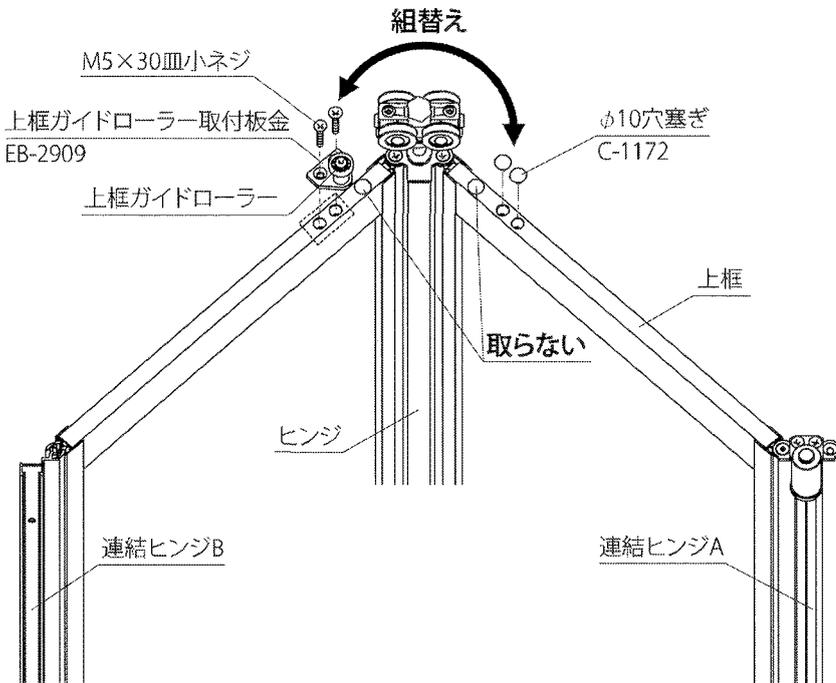


- ：上框ガイドローラー
- ☆：下框ガイドローラー
- A：連結ヒンジA
- B：連結ヒンジB

ポリカパネルの場合

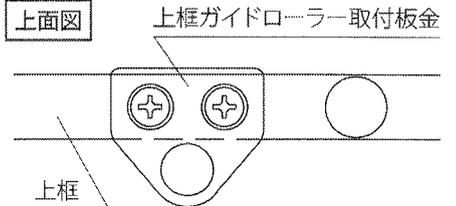
・上框ガイドローラーの組替え

1. □部のφ10穴塞ぎ2個を取外してください。
2. 上框ガイドローラー取付板金を取外し、1.の□部に取付けてください。
3. 上框ガイドローラー取付板金を取外した穴に、φ10穴塞ぎを取付けてください。



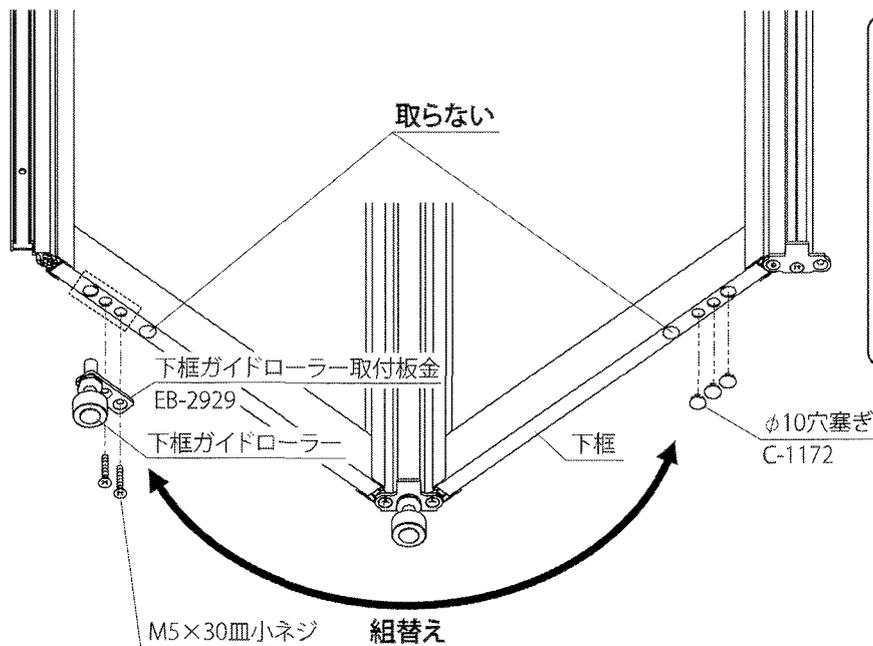
! 上框と上框ガイドローラー取付板金が平行になるように取付けを行ってください。

上面図



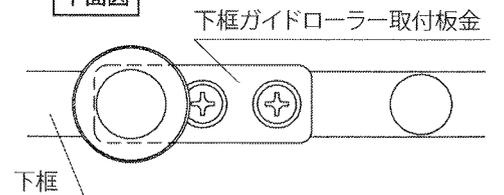
・下框ガイドローラーの組替え

1. □部のφ10穴塞ぎ3個を取外してください。
2. 下框ガイドローラー取付板金を取外し、1.の□部に取付けてください。
3. 下框ガイドローラー取付板金を取外した穴に、φ10穴塞ぎを取付けてください。



! 下框と下框ガイドローラー取付板金が平行になるように取付けを行ってください。

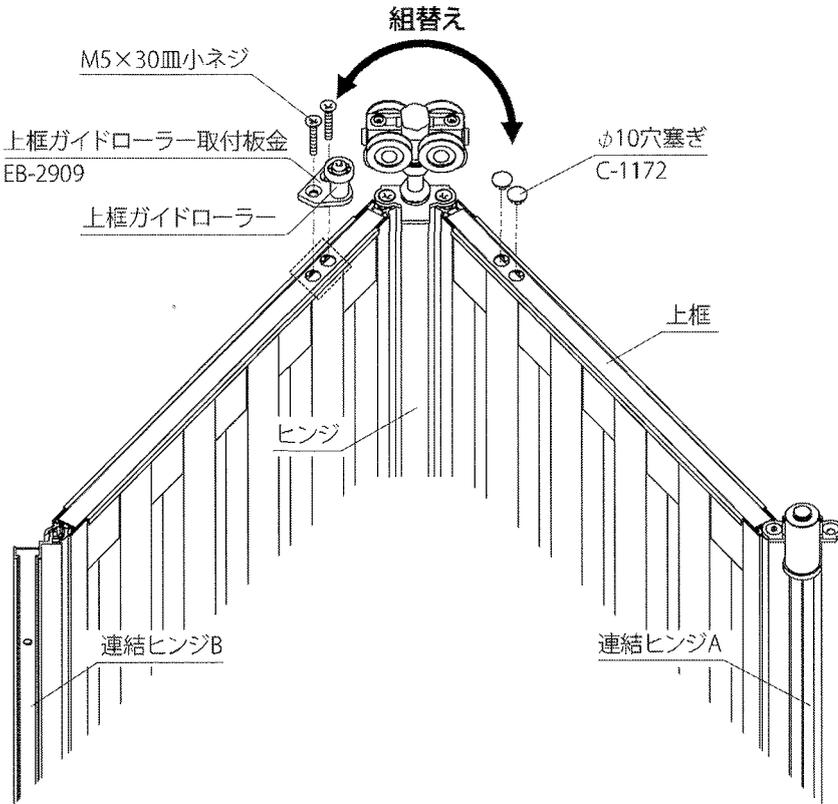
下面図



縦格子の場合

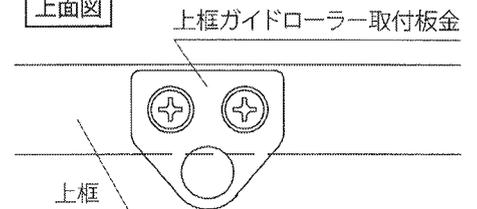
・上框ガイドローラーの組替え

1. □部のφ10穴塞ぎ2個を取外してください。
2. 上框ガイドローラー取付板金を取外し、1の□部に取付けてください。
3. 上框ガイドローラー取付板金を取外した穴に、φ10穴塞ぎを取付けてください。



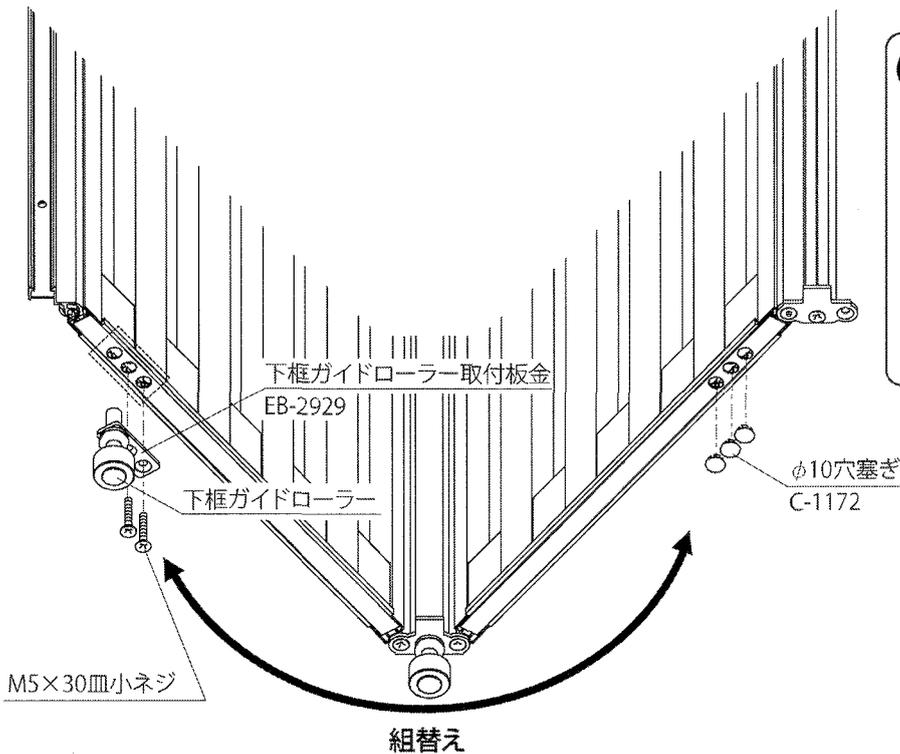
! 上框と上框ガイドローラー取付板金が平行になるように取付けを行ってください。

上面図



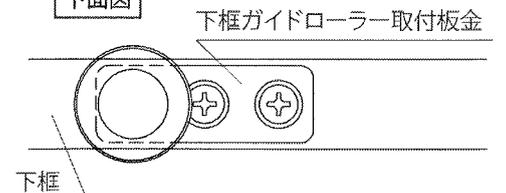
・下框ガイドローラーの組替え

1. □部のφ10穴塞ぎ3個を取外してください。
2. 下框ガイドローラー取付板金を取外し、1の□部に取付けてください。
3. 下框ガイドローラー取付板金を取外した穴に、φ10穴塞ぎを取付けてください。



! 下框と下框ガイドローラー取付板金が平行になるように取付けを行ってください。

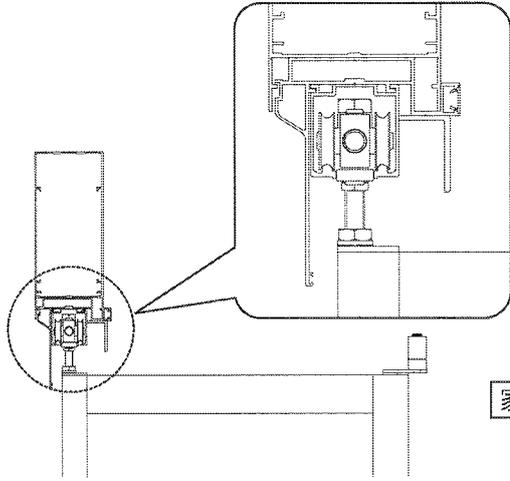
下面図



9 扉の吊込み

片開き

1. 掛扉から順次吊戸車を差し込み、柱側へ移動させてください。



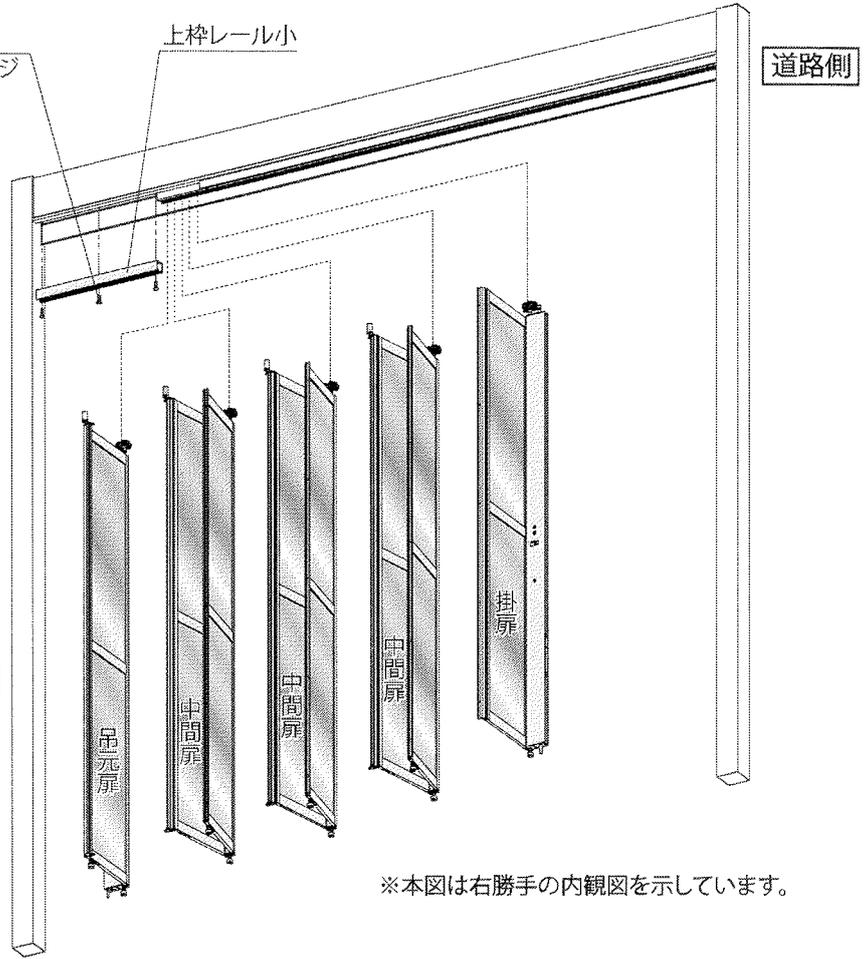
M5×12
トラスタッピンネジ

上枠レール小

道路側

家側

2. すべての扉を差し込んだ後、上枠レール小をトラスタッピンネジで固定してください。



※本図は右勝手の内観図を示しています。

両開き

1. 掛扉（受扉）、中間扉、吊元扉の順に吊戸車を差し込み、中央へ移動させてください。
2. すべての扉を差し込んだ後、上枠レール小をトラスタッピンネジで固定してください。

上枠レール小

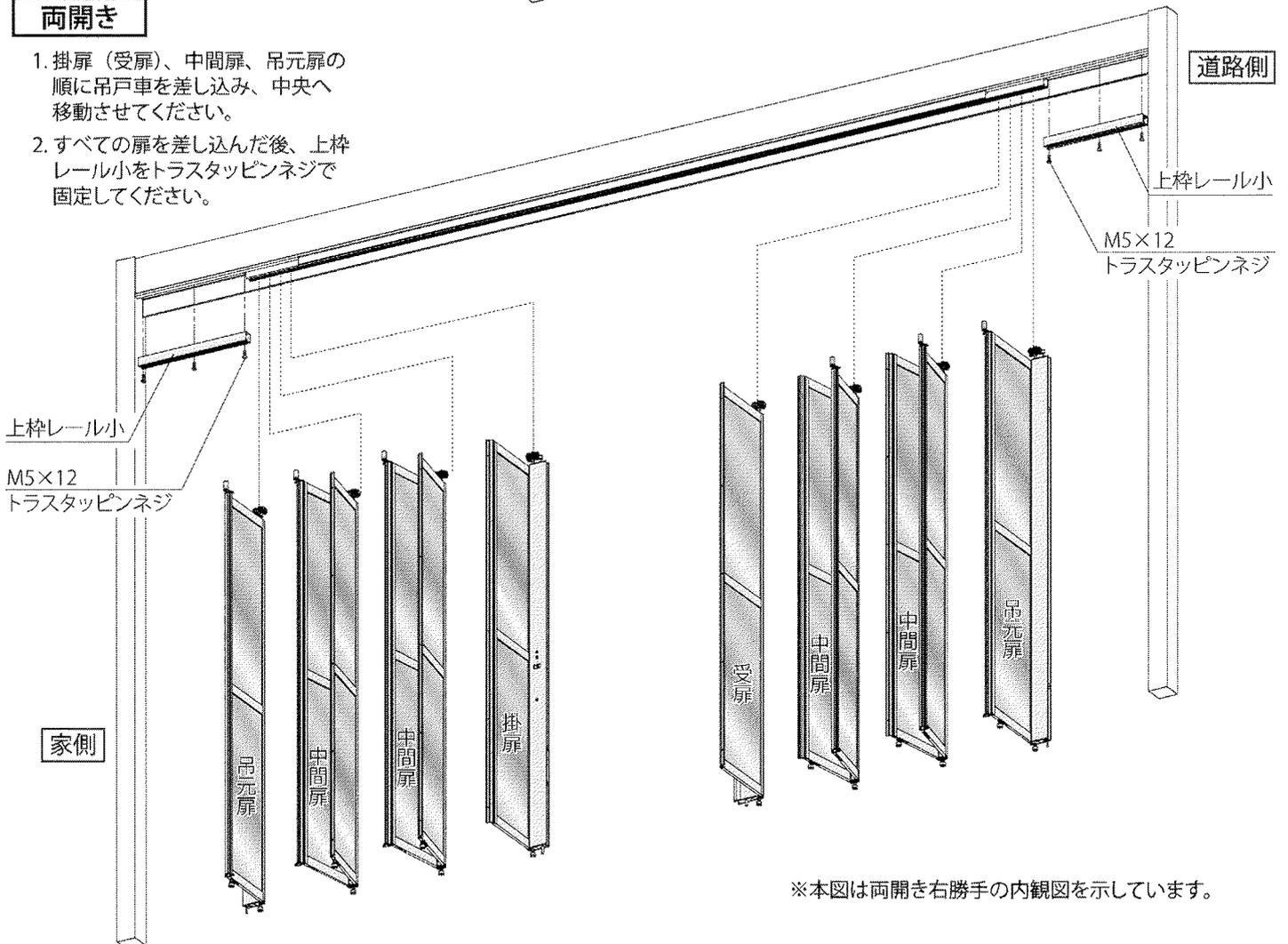
M5×12
トラスタッピンネジ

道路側

上枠レール小

M5×12
トラスタッピンネジ

家側

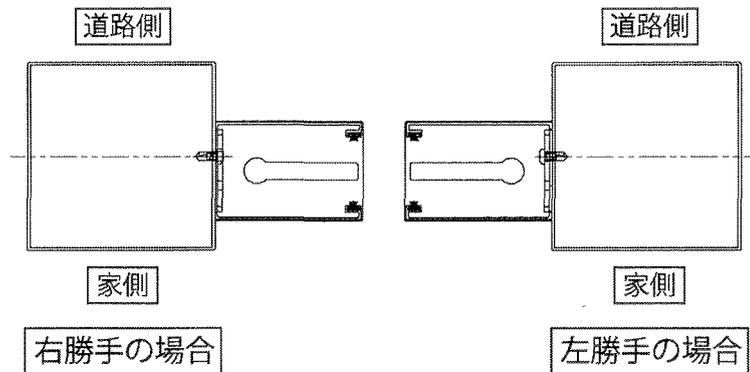


※本図は両開き右勝手の内観図を示しています。

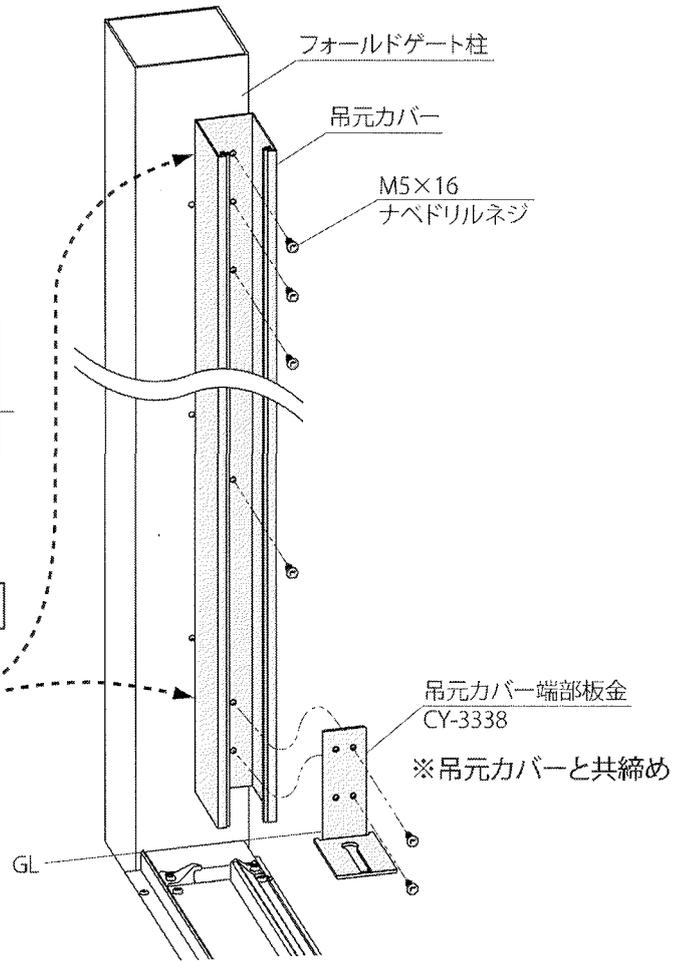
10 吊元カバーの取付け (片開き・両開き)

1. 吊元カバーと柱をナベドリルネジで固定してください。
家側に寄せて取付けてください。

! 下部は吊元カバー端部板金吊元カバーと共締めしてください。下から順番にネジ止めを行ってください。



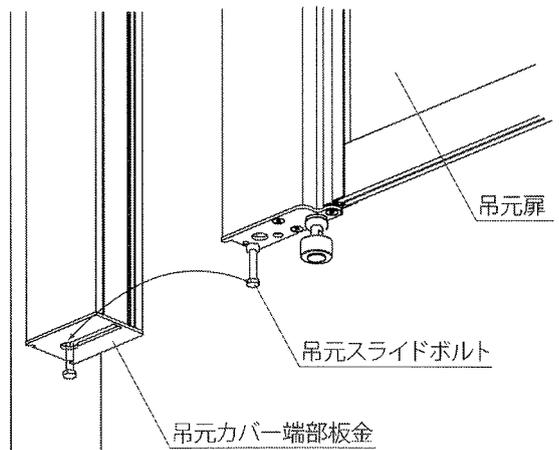
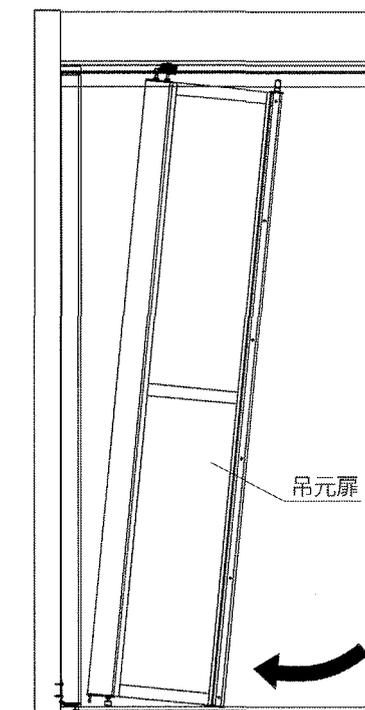
! 柱には上下2ヶ所下穴がありません。吊元カバーの穴位置にあわせてビス固定してください。



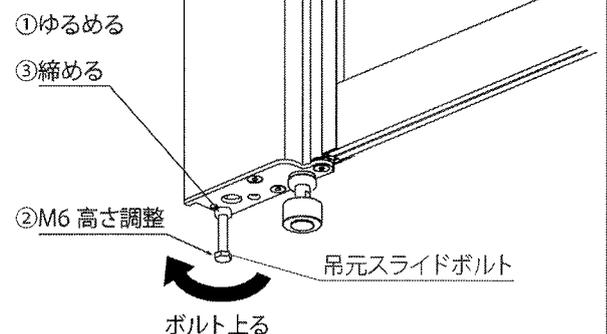
11 吊元スライドボルトと吊元カバー端部板金の連結

1. 吊元扉下部に取付けている吊元スライドボルトを吊元カバー端部板金の丸穴部分に差し込んでください。

! 吊元扉を斜めに持ち上げるようにして、ゆっくりと挿入してください。



! 吊元スライドボルトがレールに干渉した場合は、下記の手順で作業を行ってください。



12 扉の連結

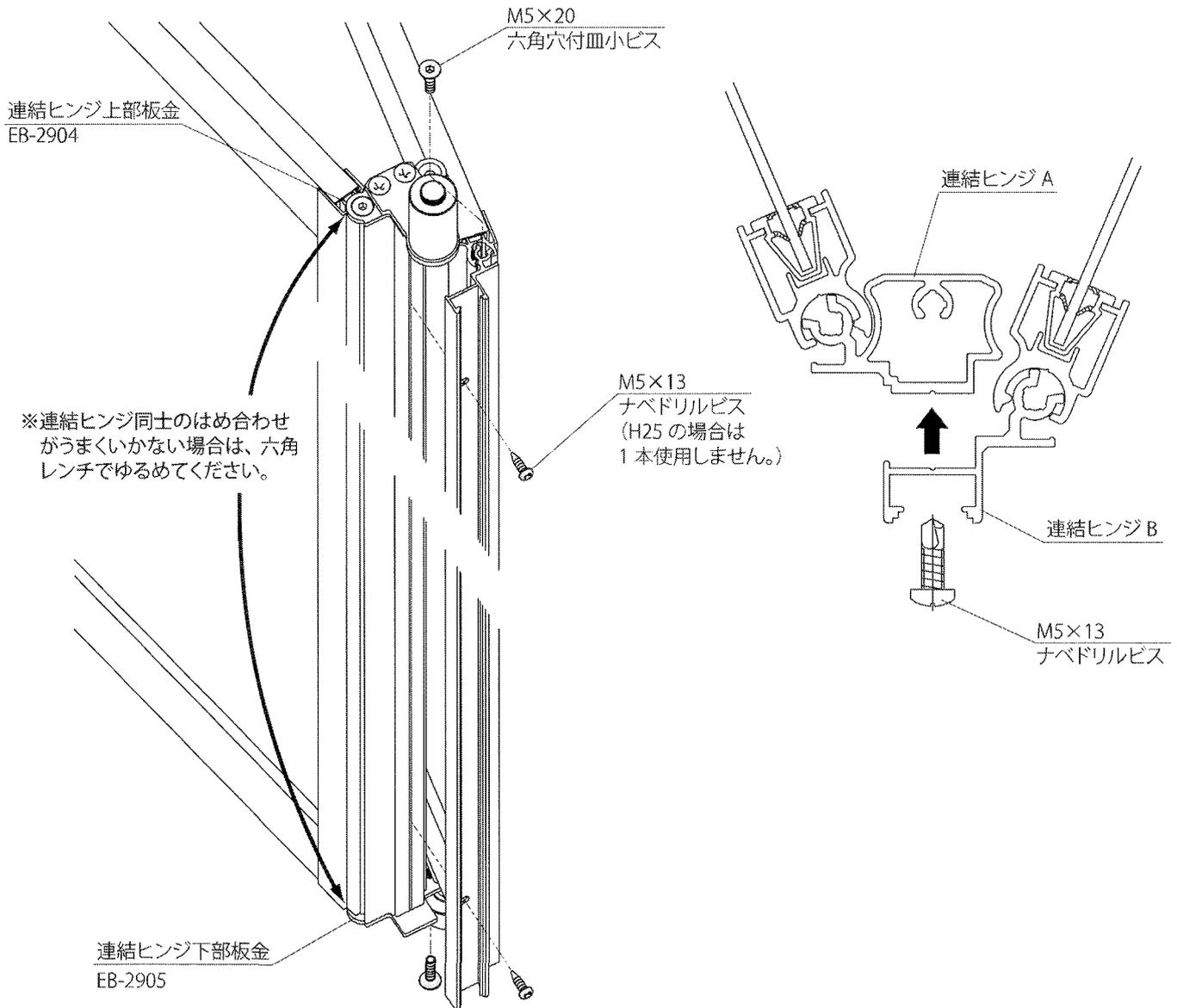
1. 連結ヒンジ B を連結ヒンジ A にはめあわせてください。
2. 連結ヒンジ上部板金、下部板金側から、連結ヒンジ B のビスポケットに六角穴付き皿小ビスを六角レンチを使って固定してください。

❗ 六角レンチは掛吊扉に同梱されています。

❗

- ・上下板金とビスポケットの位置が合わない場合は、連結ヒンジ同士が正しくはめ合っているか確認してください。
- ・それでも合わない場合は、連結ヒンジ A の六角穴付き皿小ネジを六角レンチでゆるめて位置合わせを行ってください。
- ・作業後、緩めたビスは必ず締め切ってください。

3. 正面からナベドリルネジで連結ヒンジ B と連結ヒンジ A を固定します。



13 錠の取付け (※HA 錠の取付説明書ではなく、この取付説明書を参照してください。)

■納まり図と施工前の確認 ※施工前に必ず確認してください。

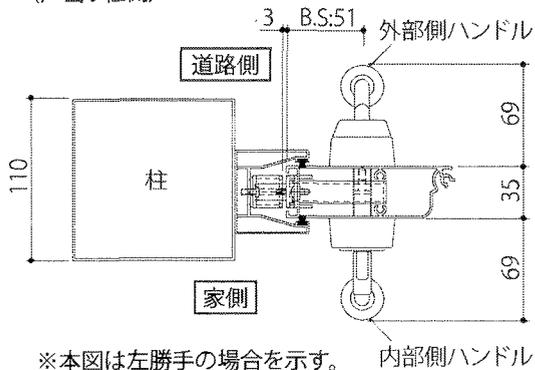
納まり図

1. 内部側ハンドルの位置・外部側ハンドルの位置を確認してください。
2. 受側・掛側を確認してください。

片開き

受側
(戸当り柱側)

掛側

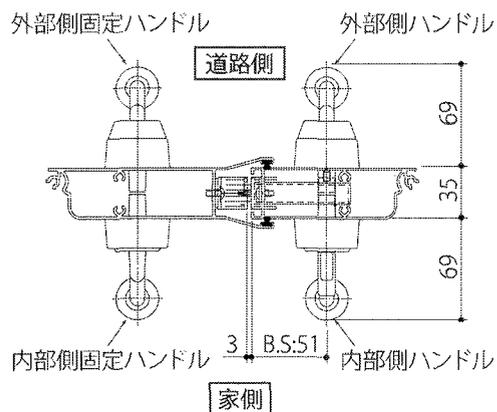


※本図は左勝手の場合を示す。

両開き

受側

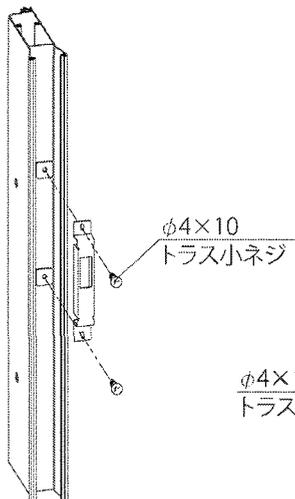
掛側



※本図は左勝手の場合を示す。

錠受けの取付け (両開きの場合)

片開きの場合は「縦枠の取付け」を参照してください。



施工後の確認

サムターンの向き (施錠時)

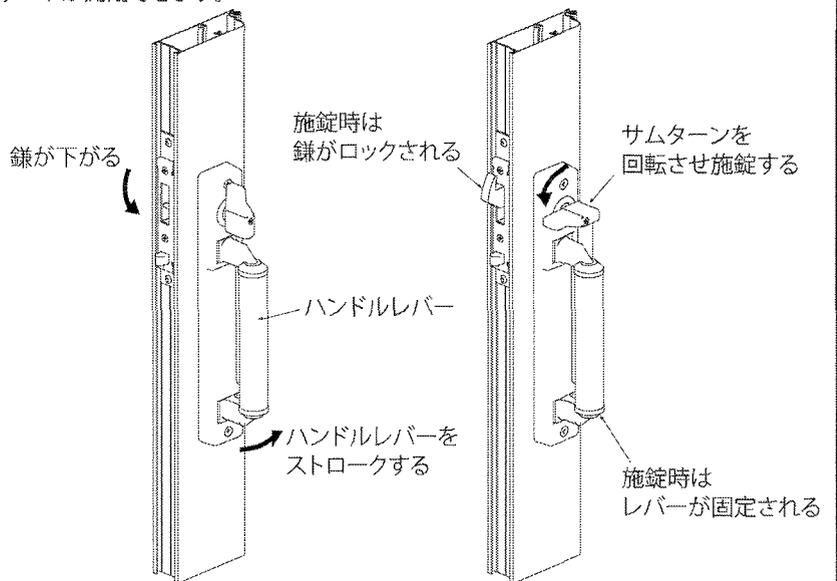
1. 開錠時はハンドルレバーの操作で鎌を下げてフォールドゲートを開閉します。
2. 施錠時はサムターンが横向きになります。ハンドルレバーが固定され、鎌がロックされます。

開錠時

※レバーの操作で鎌が下がりフォールドゲートが開閉できます。

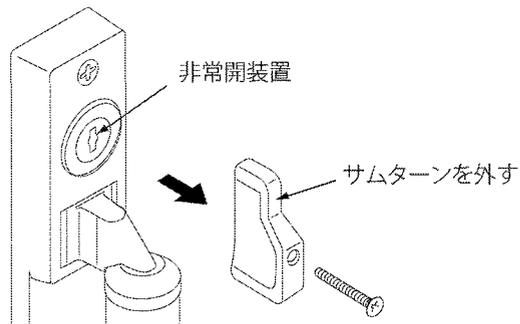
施錠時

※サムターンが横向きになります。



非常開装置について

1. サムターンを取外すと、非常開装置となります。
 2. 道路側から手を伸ばして解錠することを制約します。
- ※コイン等で回転させて施錠・開錠することができます。
※非常開装置は、部外者の解錠等操作を完全には防止することはできません。



錠ケース取付け

錠ケース
DL-1650

φ4×10
トラストッピンネジ 3種

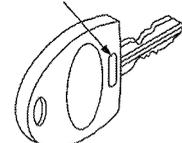
掛框

キー No. について

1. キーを紛失された場合は、キー No. と商品をお買い求めの販売店・当社営業所まで依頼してください。
2. キー No. は数字 4 桁でキーに刻印していますので、控えておいてください。

キー No.

キー No. (数字 4 桁)



■ハンドルの取付け

掛側の手順

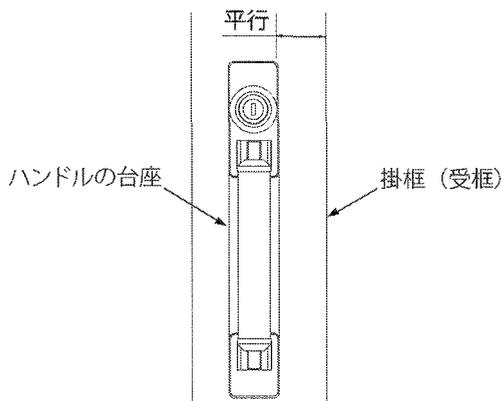
1. 内部側ハンドルと外部側ハンドルを、掛框の前後からはさみ仮組みしてください。
2. サムターンを横に倒し、施錠の操作が正常に行えるか確認してください。
3. サムターンを横に倒したままハンドルをネジ止めしてください。

受側の手順

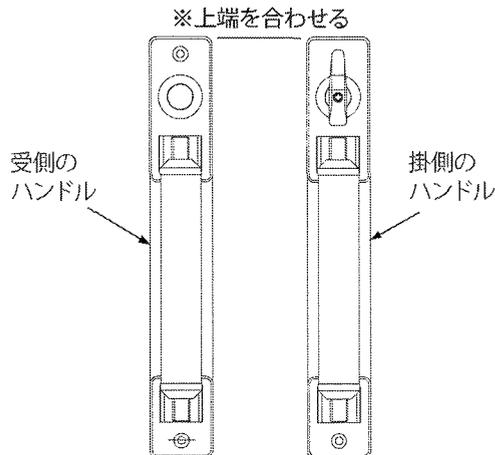
1. 内部側固定ハンドルと外部側固定ハンドルを前後からはさんで取付けてください。

施工のポイント

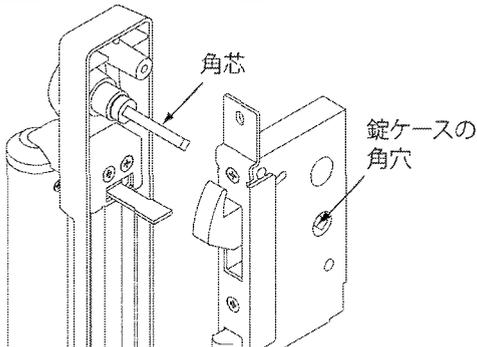
- ❗ ハンドルの台座が掛框に対してまっすぐ平行になるように取付けてください。



- ❗ 掛側と受側で、ハンドルの上端を合わせてください。

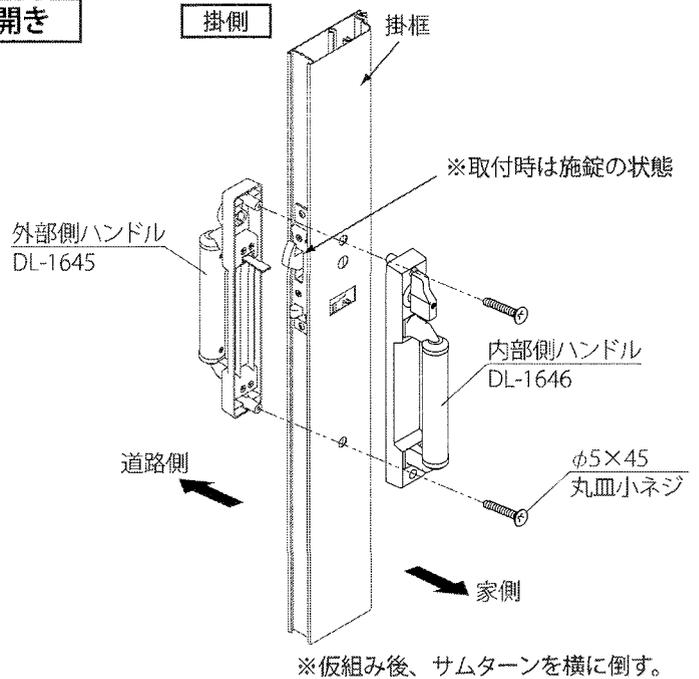


- ❗ 外部ハンドルの角芯を、錠ケースの角穴に確実に差し込んでください。

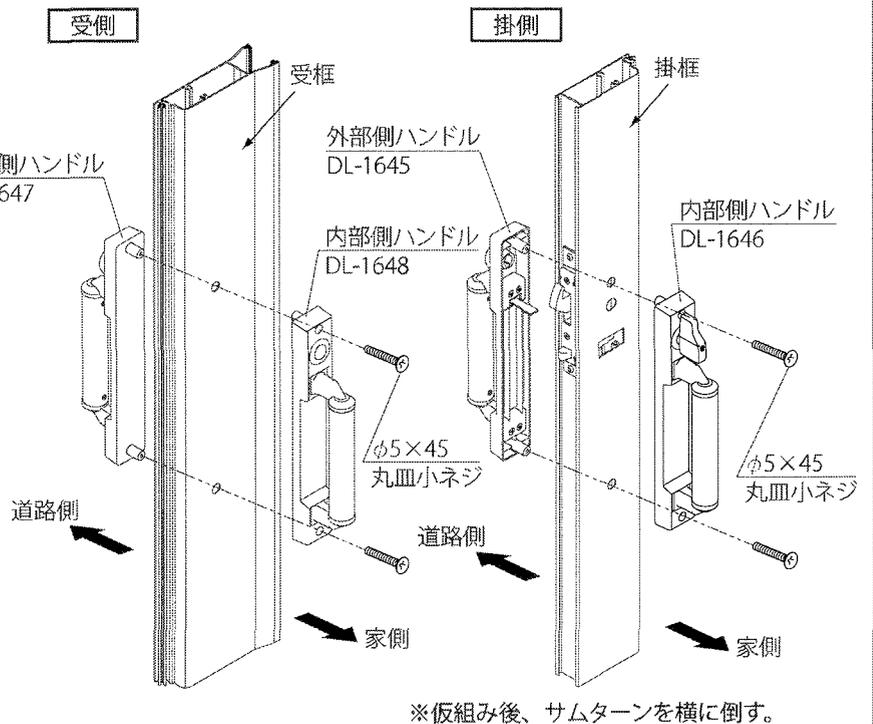


- ❗ 確認後、施錠時の状態（サムターンが横向き）でハンドルをネジ止めしてください。

片開き



両開き



施工後の確認

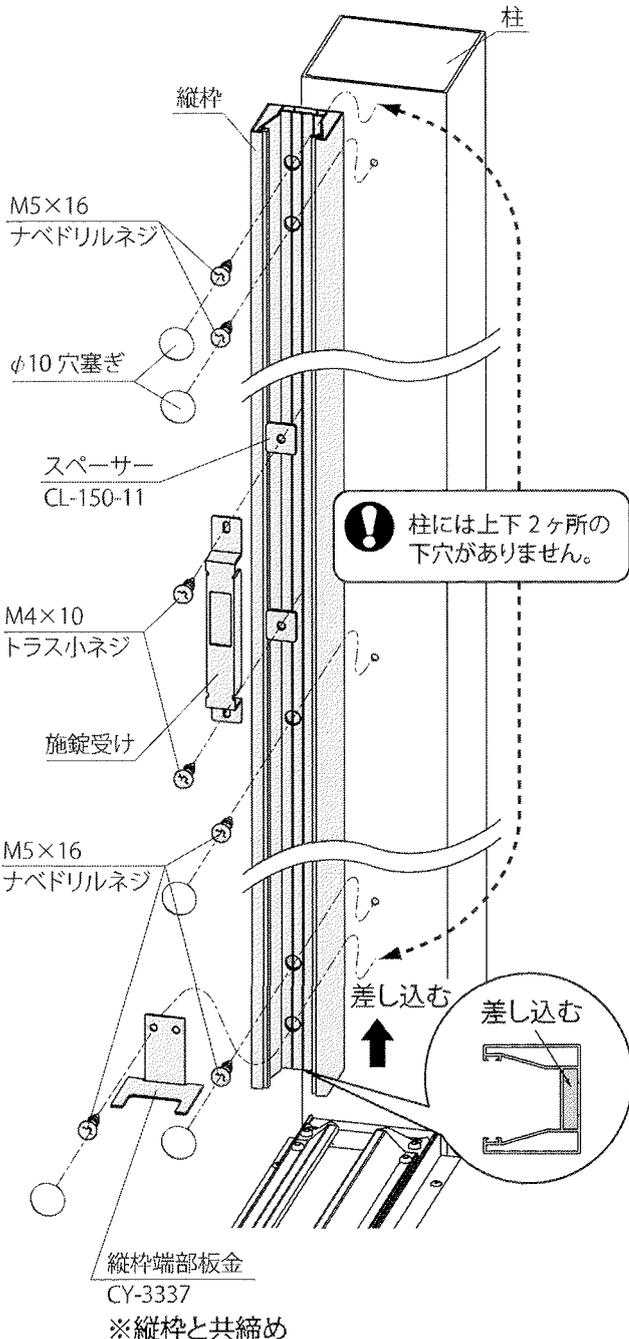
- ❗
- ・サムターンの動作がスムーズであるか確認してください。
 - ・ハンドルレバーの操作がスムーズであるか確認してください。
- ※動作がかたい場合は、錠ケースの取付位置を微調整してください。

14 縦枠の取付け (片開き)

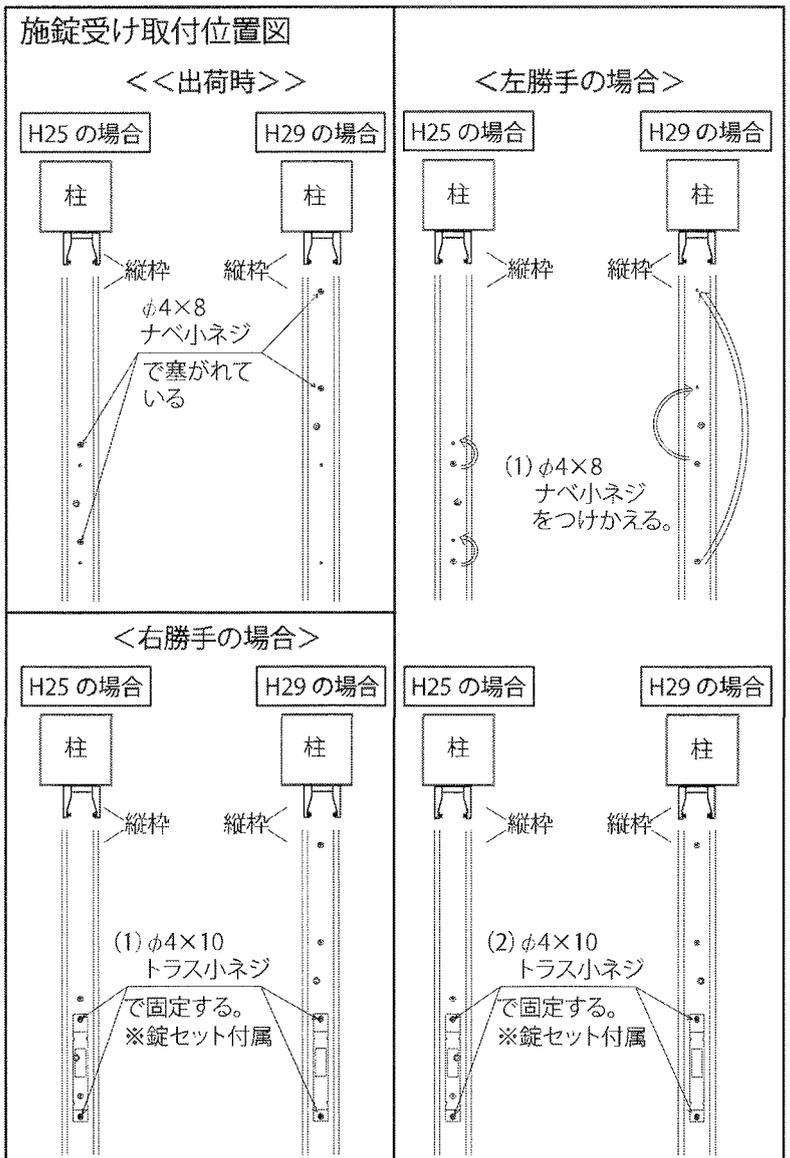
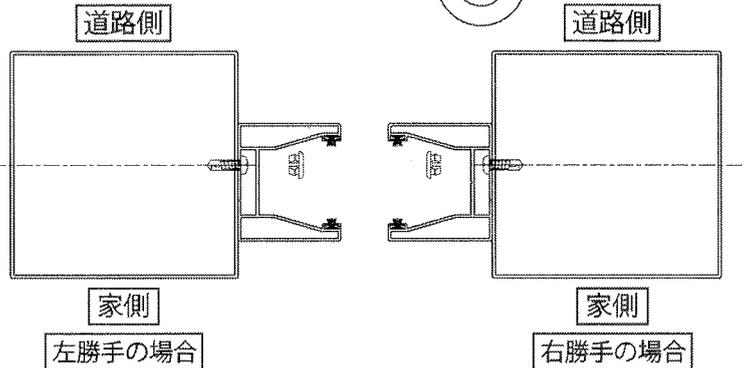
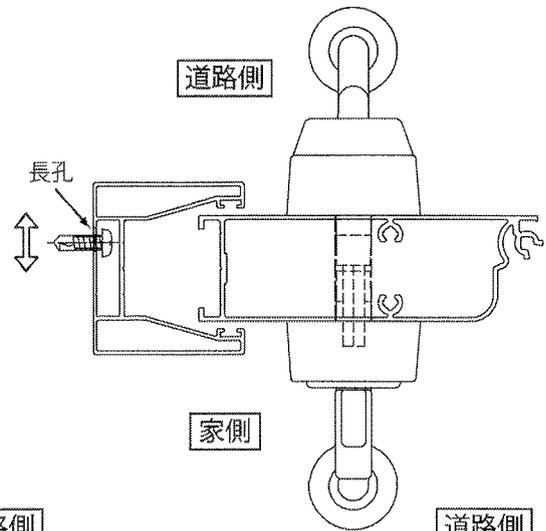
1. 縦枠に縦枠端部板金を差し込んでください。
2. 柱の下穴に合わせて、ナベドリルネジで仮固定してください。
※縦枠の上下両端の固定は後で行います。柱に加工はありません。
3. 右図のように、ハンドルをもって家側道路側から数回開閉操作を行って、縦枠の位置をスムーズに開閉できる位置に固定してください。
4. 縦枠の上下をナベドリルネジで固定してください。

! 下部は端部板金と縦枠を共締めしてください。

5. スパースを施錠受け部に取付けてください。
 6. 右勝手の場合は、縦枠の下から所定の位置に施錠受けをトラス小ネジで取付けてください。縦枠の取付穴にはφ10 穴塞ぎを取付けてください。
- ※左勝手の場合は、M4×8 ナベ小ネジを外し、錠受けを所定の位置に取付けます。ナベ小ネジを捨てビスとして、2ヶ所に固定してください。



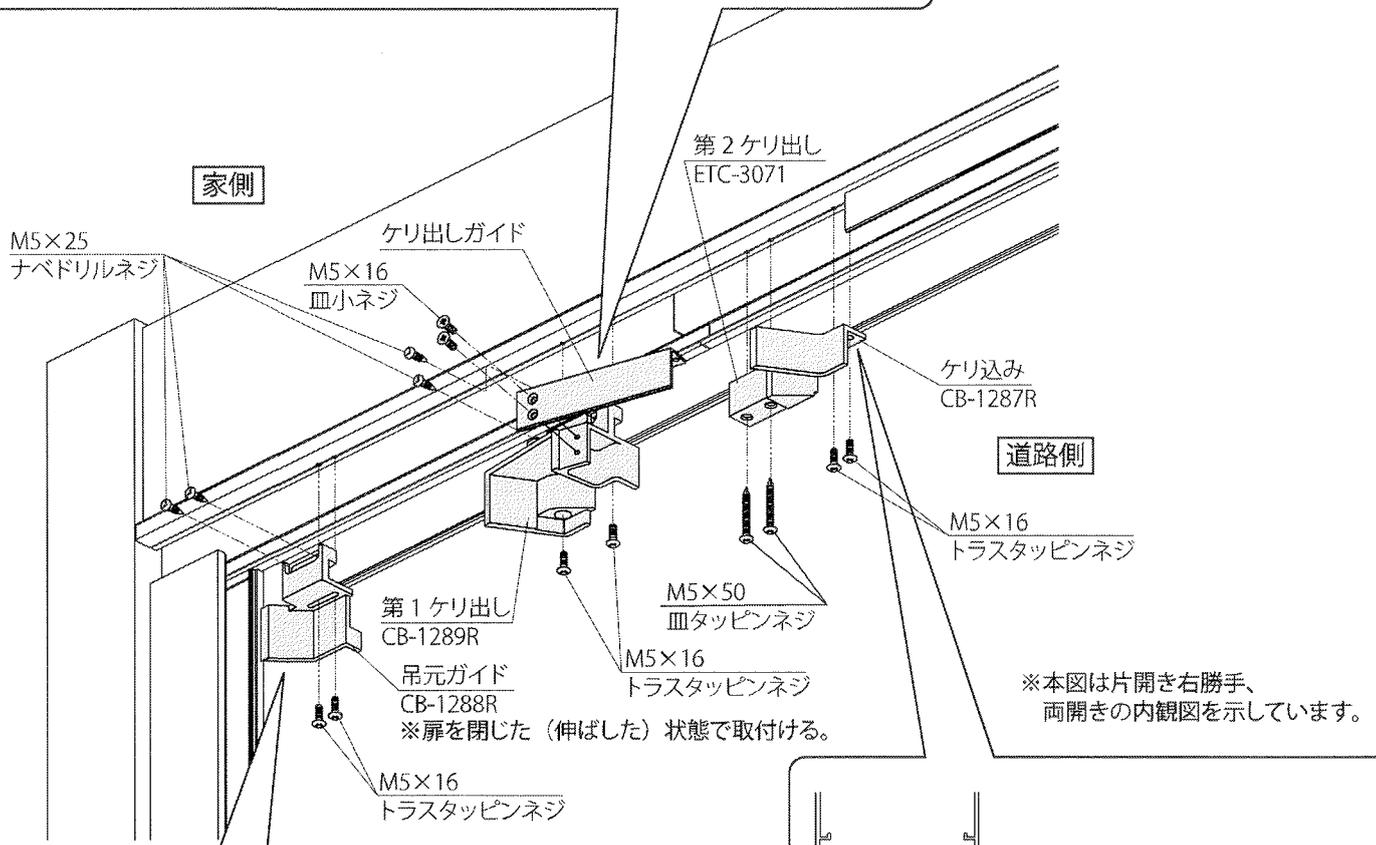
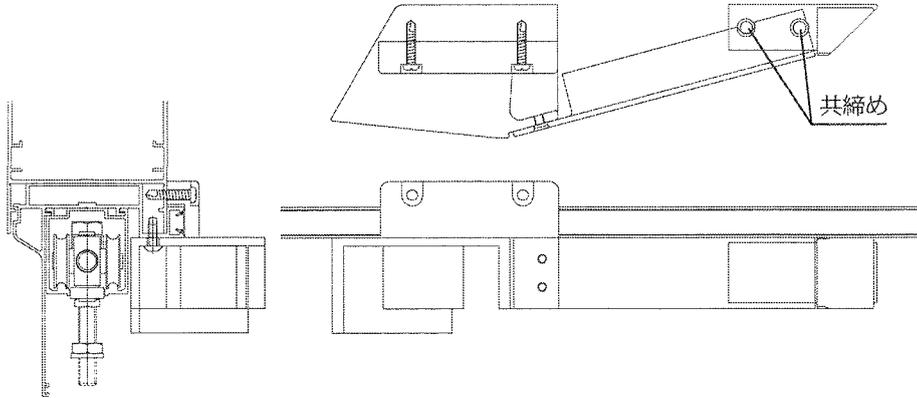
※本図は右勝手の内観図を示しています。



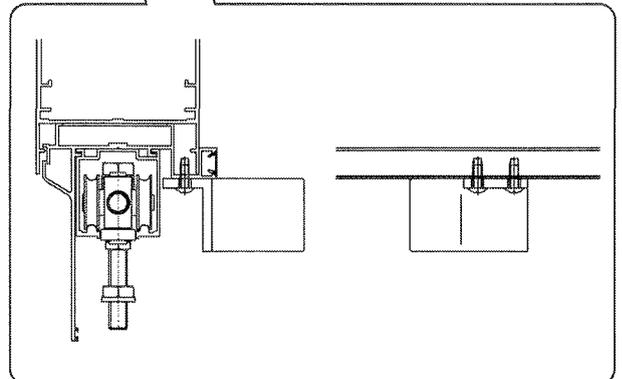
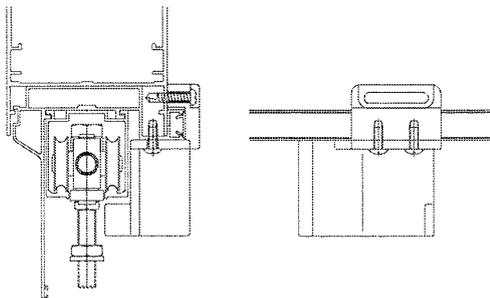
15 上枠部品の取付け

1. 吊元ガイドの取付け以外は扉をすべて開けた（たたんだ）状態で作業を行ってください。
2. 下図を参照し各部品を取付けてください。吊元ガイドの取付けは、扉を閉じた（伸ばした）状態で行ってください。

! ケリ出しガイドは、第2ケリ出しと M5×50 皿タッピンネジで共締めします。第1ケリ出しとケリ出しガイドを固定するまでは仮止めとしてください。



! 扉を数回開閉して吊元ガイドの位置を調整してから、側面のドリルネジで固定してください。



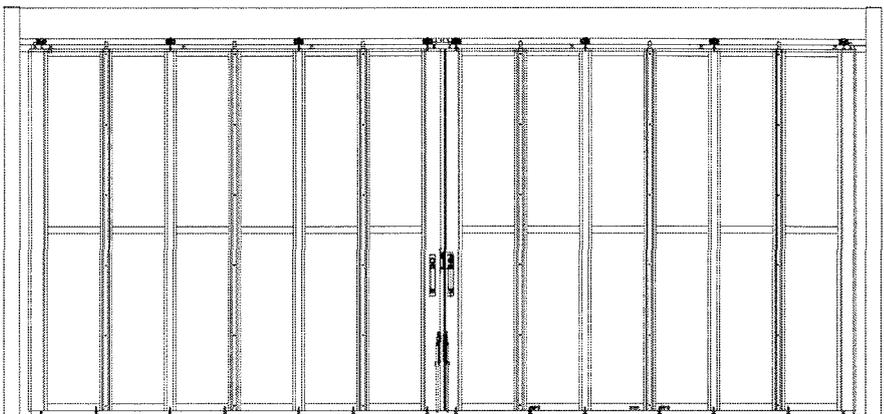
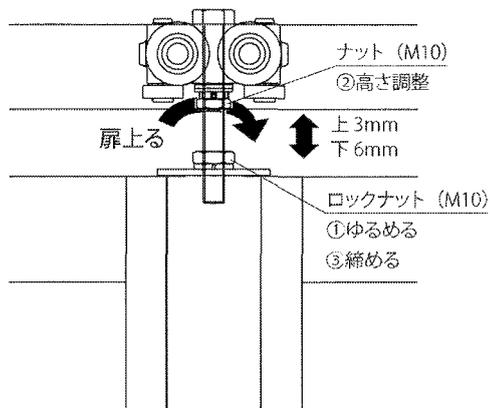
16 吊戸車の高さ調整

1. 吊戸車の高さを調整し、召し合わせ部の上下にスキマが出ないようにしてください。

※調整方法は、下図の番号順に従って調整してください。



扉の召し合わせ部でスキマが生じた場合は、高さ調整を行ってください。

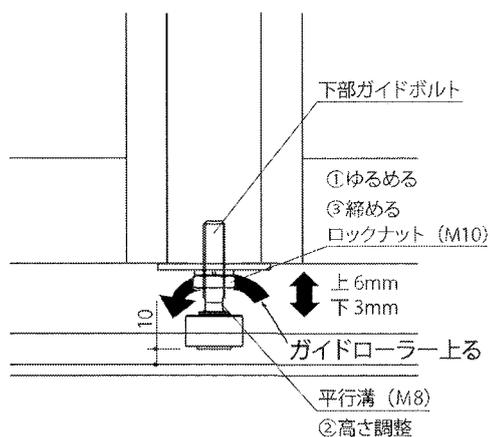


17 下部ガイドローラーの高さ調整

1. 吊戸車の高さ調整後を行った後、下図のように下部ガイドローラーの高さ調整をしてください。



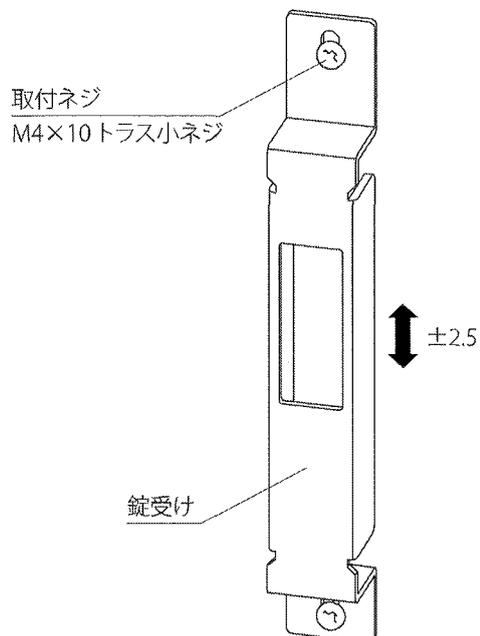
吊戸車調整後、必ずロックナット (M10) を増し締めしてください。ロックナット (M10) が緩んでいると、扉の高さ位置が下がって開閉できなくなる可能性があります。



下部ガイドボルト調整後、必ずロックナット (M10) を増し締めしてください。ロックナット (M10) が緩んでいると、ガイドボルトの高さ位置が下がって開閉できなくなる可能性があります。

18 施錠受けの高さ調整

1. 施錠合わせなど高さ調整が必要な場合には、錠受けの取付ネジをゆるめ、調整後固定してください。

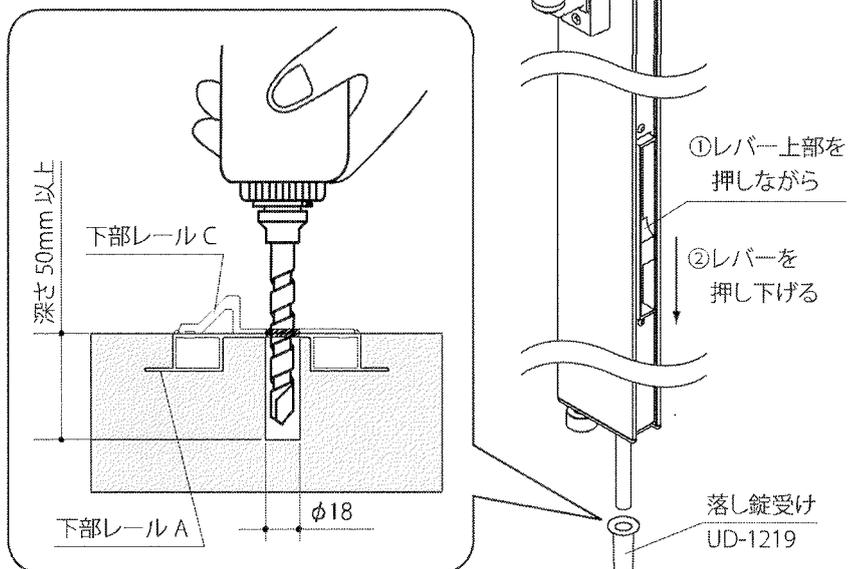


19 落とし錠受けの設置

自走防止用の落とし錠受けの取付け (片開き・両開き共通)

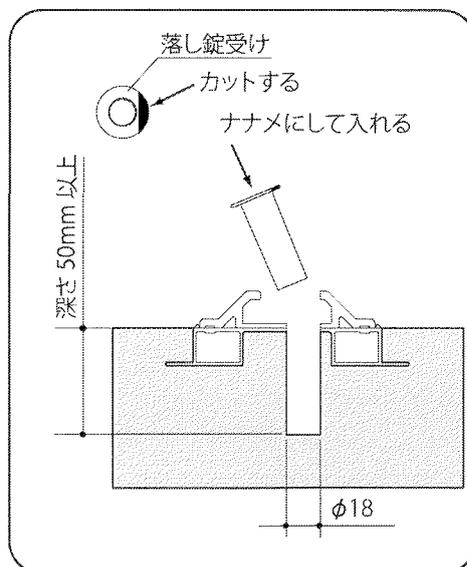
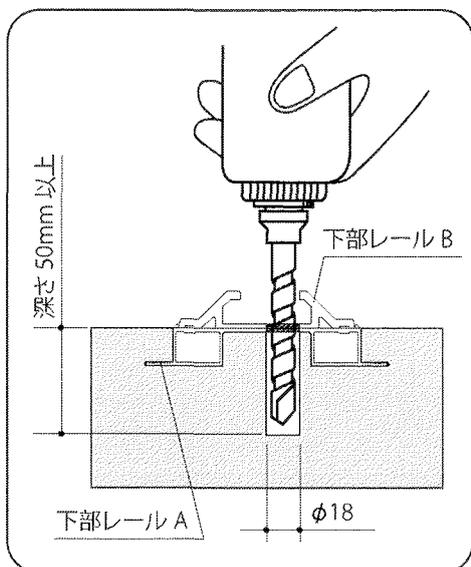
! 扉をたたんだ時には、必ず落とし錠を下してください。風等にあおられて、自走し車等を傷つける恐れがあります。

1. 落とし錠は、たたんだ状態で自走しないように維持する為のものです。7ページで下部レールAに孔加工を行った位置に、 $\phi 18$ の孔加工を行い、落とし錠受けを取付けてください。



両開き受扉落とし錠受けの取付け

1. 両開きの場合は、受扉は必ず落とし錠を使用してください。7ページで下部レールAに孔加工を行った位置に、 $\phi 18$ の孔加工を行い、落とし錠受けを取付けてください。また、落とし錠受けは図のようにカットし、取付けてください。

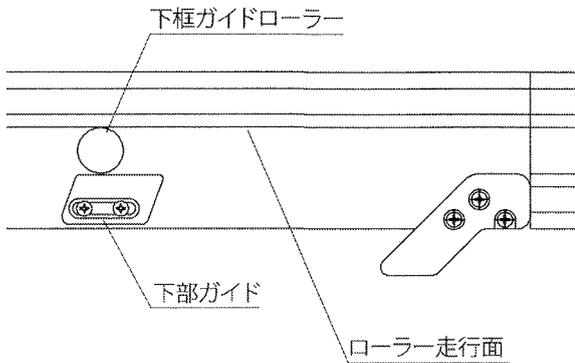


20 下部ガイドの取付け

1. 扉を閉じた状態で、吊元扉の下框ガイドローラーの位置に合わせて下部ガイドをナベドリルネジで固定してください。

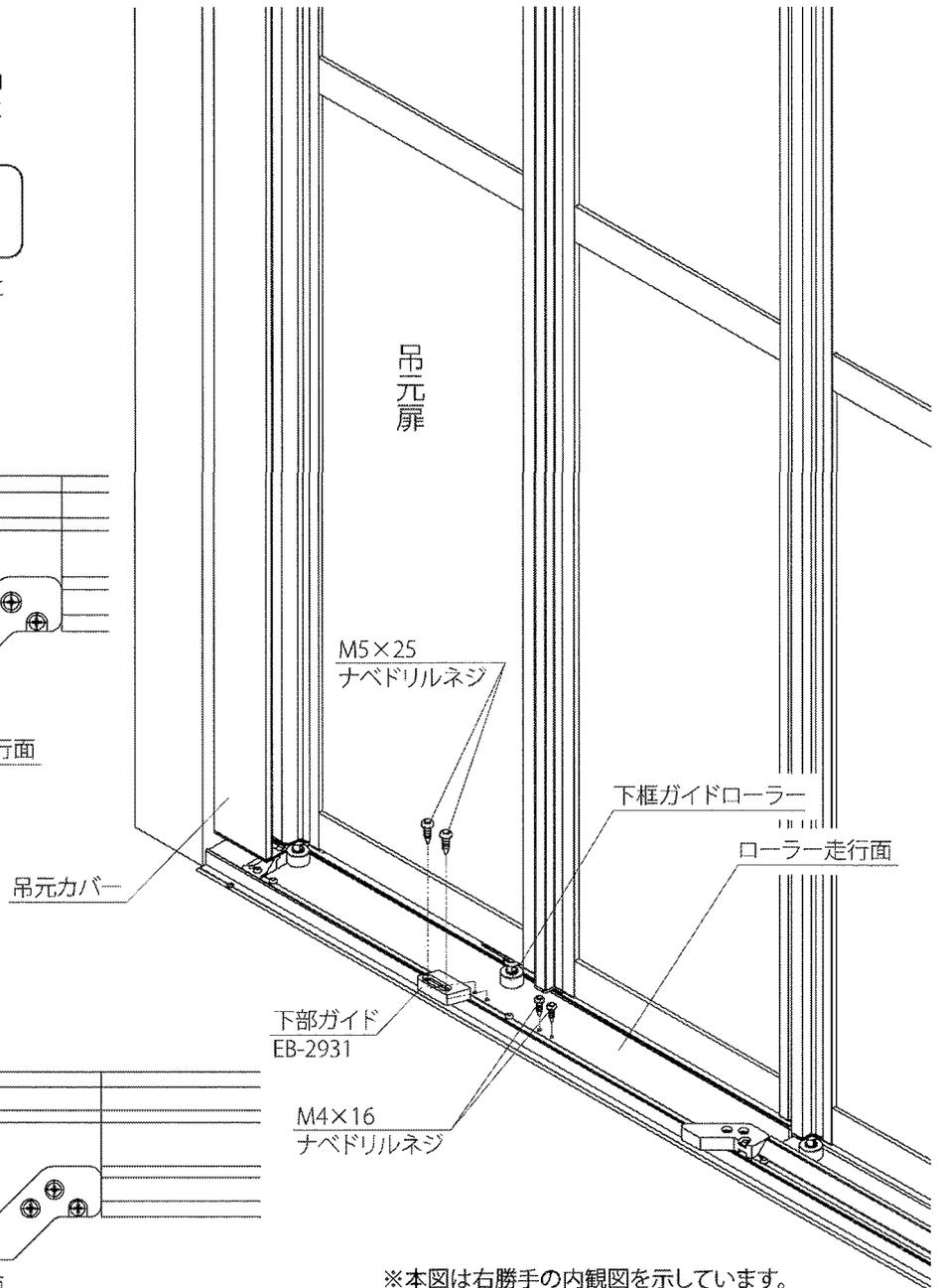
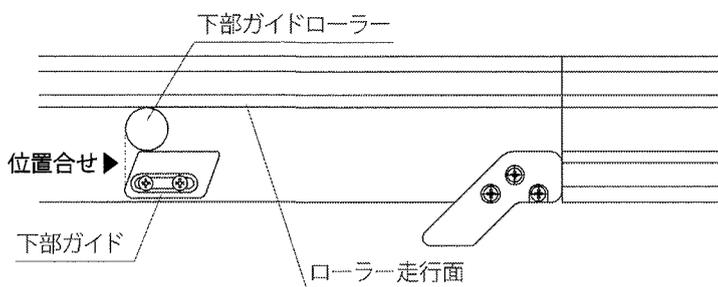
! 下部ガイドはローラー走行面と平行になるように取付けてください。

2. 扉を数回開閉させて、下部ガイドの位置に支障がないことを確認してください。下部ガイドローラーと干渉する場合は位置を調整して固定してください。



3. 下図を参照の上、全てビスを取付けてください。

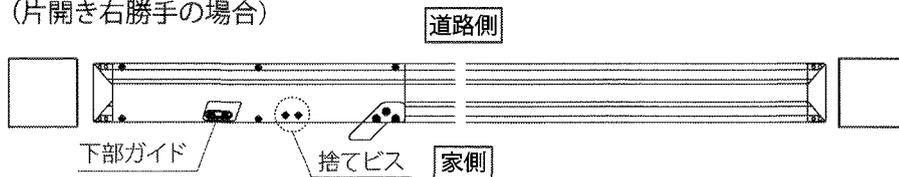
! 図の取合いになるように、ビスをゆるめて調整してください。



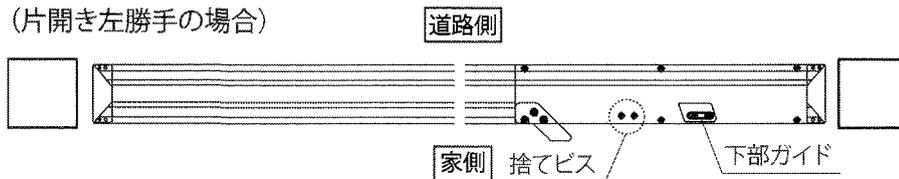
※本図は右勝手の内観図を示しています。

取付位置 (平面図)

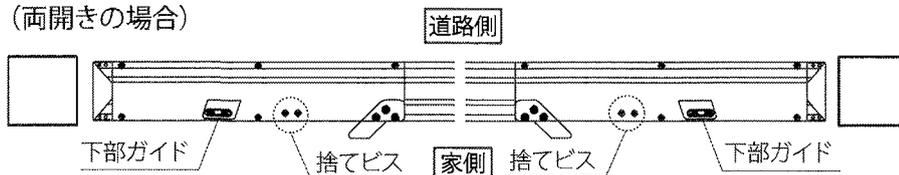
(片開き右勝手の場合)



(片開き左勝手の場合)

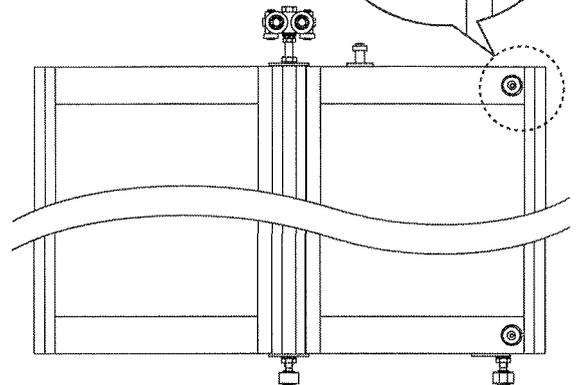
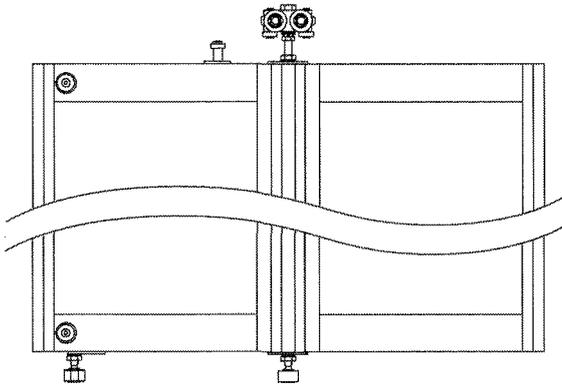
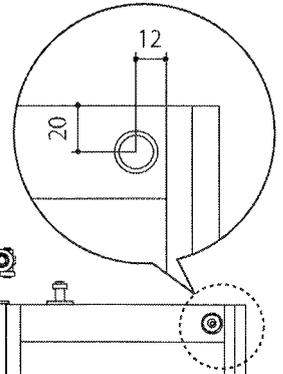


(両開きの場合)



21 幅決めゴム・溝塞ぎカバーの取付け

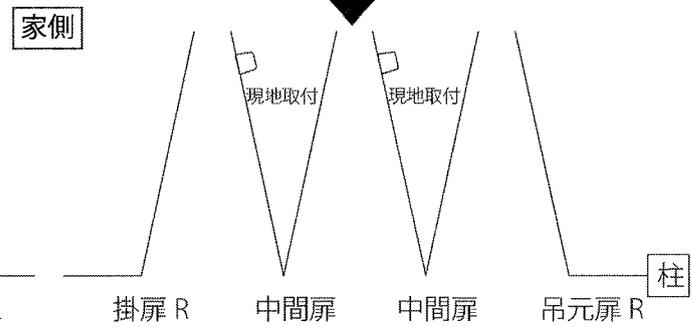
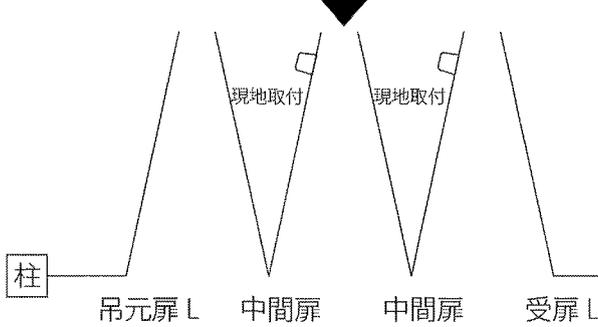
1. 図の位置に下穴 $\phi 3.3$ をあけてください。
2. 幅決めゴムをナベタツピンネジで取付けてください。
※内観図を示しています。



Aから見た場合



Bから見た場合

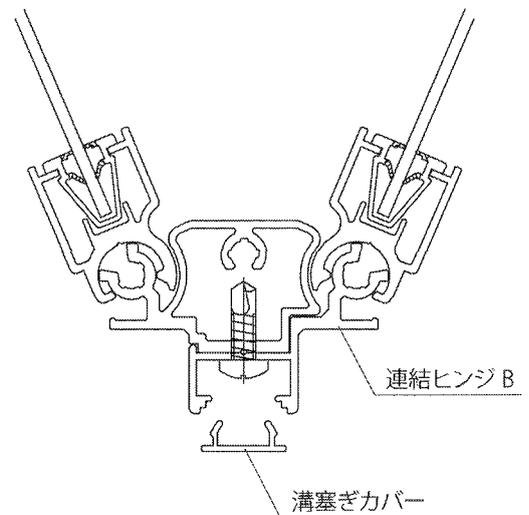
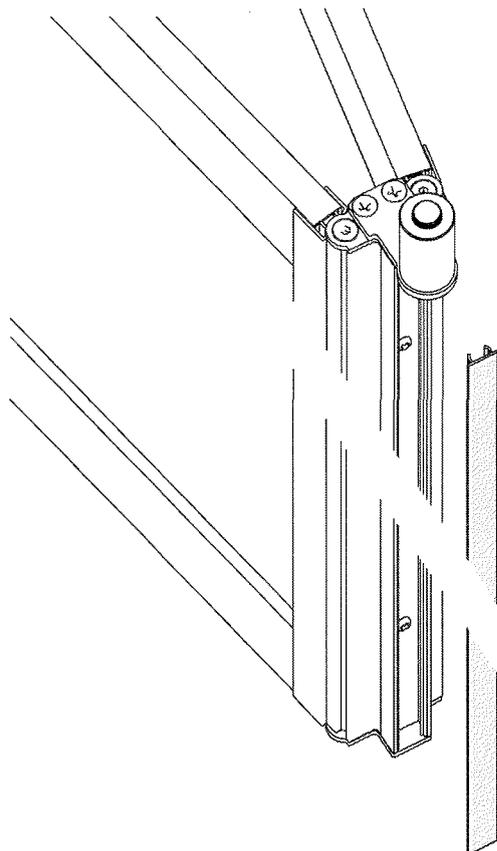


片開き左勝手・両開き

道路側

片開き右勝手・両開き

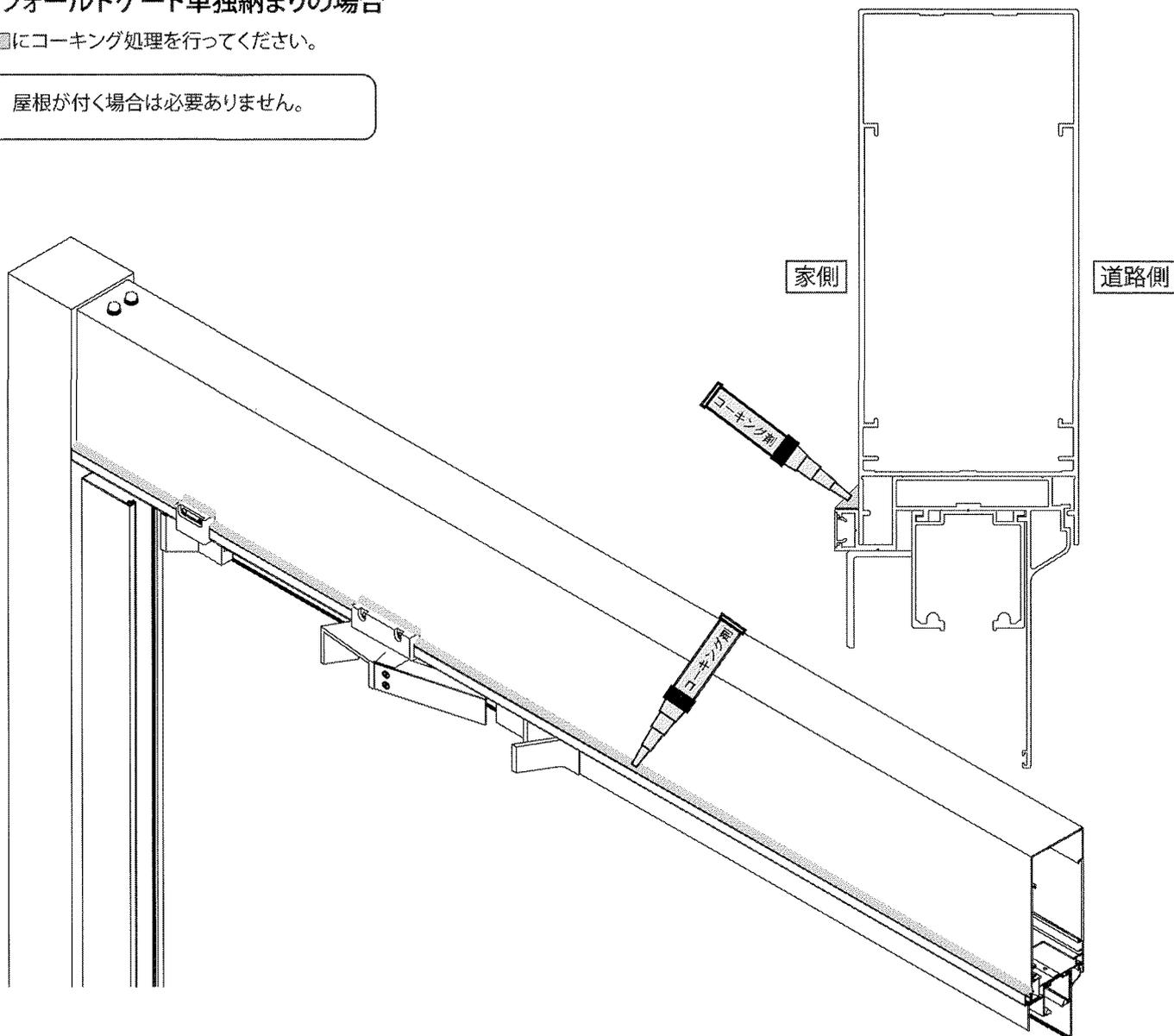
3. 連結ヒンジ B に溝塞ぎカバーを取付けてください。
当て木等で、軽く叩いて取付けてください。



22 フォールドゲート単独納まりの場合

1. 図にコーキング処理を行ってください。

! 屋根が付く場合は必要ありません。



■ おわりに

以上で取付けは完了ですが、お客様に正しく取り扱っていただく為に施工完了後、開閉錠の掛かり具合等を確認後、使用方法・使用上の注意等をお客様に説明し、この取付説明書をお渡してください。

■ 施工工事店様、販売店様へのお願い

- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡ししてください。
- 取扱説明書に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL () -		
販売店	TEL () -		

新日軽株式会社 この商品についてのご質問やご相談は 右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談室  **0120-37-2534**

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>